夕刊

五月五日

發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

民營を根幹とする 滿鐵組織改革案

山本社長遂行に着手 政府は愼重の態度

【東京特電五日發】山本滿鐵社長の抱懐する滿鐵根本改革案なるものは過般來其の片鱗を顯はしつゝあるが其の根幹とする處は

日支兩民族の共存共榮と同時に世界各民族のために平和の一大理想境を現出するといふ我國策に基き滿蒙の經濟開發を圖り更に我人口食糧問題解決に資するためには近代的植民會社の組織體系に則り滿鐵を純然たる民業會社となし以て支那其他との接衝の圓滑を圖ると共に政變毎に社業方針の變更さるゝを防止する必要あり

といふのであつて之が具體的方策としては

一、現在の資本金四億四千萬圓を更に適當に增額し政府の出資財産及持株は全部民間に拂下げ或は年賦償還の方法を講ずること
一、滿鐵の經營に係る地方行政事務は之を關東廳に移管すること
一、從來の監督系統を改善し社業遂行の敏活を期すること
一、社長の諮問機關として評議員會を置くこと(既報)

等であり之に附帶して既報の鞍山製鐵所安肥料、アルミニユーム、オイルセール、曹達、パラフイン等の諸計畫、證券會社及び農事會社の設立、移民組合の設置等の新規事業が之に包含せらるゝものであり、政府としては大體に於て其の趣旨には贊同しつゝあるも實際問題として其の計畫が餘りに遠大であり且つ大改革であるため實行には愼重の講究を必要とするとしてゐるものゝ如くである

藏相を訪問して 腹案を述ぶ

四日夕、山本社長が

【東京特電四日發】田中首相に滿鐵職制改正意見を提示した山本社長は四日夕更に三土藏相を訪問して其の抱懐する滿鐵民營方針に關し腹案を述べ意見を交換したと傳へられる、斯くして山本氏が就任以來二ケ年間の實地經驗を基礎に其の經綸を行はんとする滿鐵大改革案實現の機運は漸次其の緒に就かんとしてゐる、右に對して三土藏相は語る

滿鐵民營は我滿蒙經濟發展に資すること大なるは疑ひをいれぬが國策遂行、沿線の行政關係もあり一槪に贊成出來ぬ、山本氏は隨分熱心に民營論を主張してゐる樣だが愼重考慮を要すると思ふ

副島氏 鞍山入りに內定

【東京特電五日發】山本滿鐵社長の滿鐵經營刷新計畫の一端たる鞍山製鐵所分離に伴ひ伍堂氏を社長とし其の下に現商工省商務局長副島千八氏を拉し來つて經營方面を主管せしむることに內定してゐる

林奉天總領事 あす東京發

【奉天特電五日發】上京中である林奉天總領事は六日東京發歸奉の途につく旨奉天總領事館に入電があつた

小幡大使 引退を希望

【東京五日發電】トルコ大使小幡酉吉氏は昨年末歸國靜養中であつたが後進に途を讓るを理由として外交界引退の希望あり近く實現するものと觀られてゐる、後任はスヰス公使吉田伊三郎氏が有力であると

謹告

本社主催滿蒙驛傳競爭規程第一項中左の通り追加及び訂正す

一、溪城鐵道 本溪湖牛心臺間九哩を追加す
一、吉海鐵道 朝陽鎭双河鎭間七十一哩四分とあるを朝陽鎭吉林間百二十七哩五分と改む
一、合計三千三百五十八哩九分とあるを三千四百二十四哩と改む

軍費公開決議案 二十二對二で採擇

反對は支那と露國

【ゼネバ特電四日發】軍需品制限問題について國際聯盟軍縮準備委員會は本日アメリカその他が提出せる各國軍備費全部の公開を義務的とすることによつて軍事材料製造制限の目的を達すべしとする決議案について採決を行つた結果二十二票對二票の大差をもつて同決議案を採擇した、反對投票をなしたのは勞農ロシヤおよび支那代表で獨逸代表は投票を棄避した

軍事材料の 制限縮小が目的

【ゼネバ特電四日發】軍縮準備委員會は四日米國代表ギブソン氏の軍費公開決議案を採擇したが同案はイタリー代表ポリチス氏の原案を蒸返してフランス代表マシグリ氏も參加して提出されたもので最に軍備の直接制限をなさんとするドイツ、ロシア兩代表の提案及び豫算制限をなさんとするフランス日本の軍縮案が一般の贊成を得るに至らなかつた結果、此に軍事材料の制限及び縮小は軍費を公開するの方法によつて之を求めなければならぬといふことになつたのである

責任を 獨代表聲明

【ゼネバ四日發電】本日の軍縮準備委員會においてアメリカ代表の軍費公開決議案採擇後獨逸代表ベルンストフ氏は左の聲明をなした

獨逸は如何なることあるも陸海空軍の軍備を實際的に縮小することを規定せざる軍縮條約は受諾することは出來ぬ、故に獨逸はやむを得ず本委員會將來の審議についてあらゆる責任を回避するものである

海軍問題論議の 中止を要求せん

あす我佐藤代表から

【ロンドン四日發電】エサスチエンヂテレグラフ通信社ゼネバ特派員の諒解する處によれば國際聯盟軍縮準備委員會は六日の本會議でアメリカ代表ギブソン氏がアメリカの海軍軍縮案につき試案の說明をなしたる後同日より十月若くは十一月まで休會する筈であるが、同日日本代表佐藤尙武氏は次期軍縮準備委員會まで海軍問題の論議を全然中止せんことを要求しイギリス代表カツセンダン卿が佐藤氏の提案を支持するであらうと

六日の委員會

海軍費を審議

【ゼネバ四日發電】國際聯盟軍縮準備委員會で本日軍費公開決議案を採擇せる後イタリー代表ポリチス氏は同委員會は六日かり海軍軍備の審議を開始すべき旨發表したギブソン氏が海軍々縮に關する具體案を提出するものと期待さる

租賦徵收權 回收反對

蒙古王侯連が運動開始

【哈爾賓特電五日發】奉天財政廳長張振鷺氏は最近內蒙各旗の租賦徵收權を蒙古王府から回收し省政府の一財源とする計畫を樹てゝゐるが目下長春において會議中の各蒙古王侯は之を聞知して大いに驚き、右租賦は各旗共唯一の財源で若これを奪はれるにおいてはその生活の根據を失ふものであるとなし直に省政府に向つてこれが反對運動を開始したと

東行輸出穀類の 抑留問題解決す

從前通り浦鹽迄直通

【哈爾賓特電四日發】ポグラニーチナヤにおける輸出穀物の差し押へ問題の解決辦法に關して藏本書記生と商業會議所並に特產商とにおいてその具體案を作成中であつたがこの程左の如く成案を得支那側の承認をも經たので東行輸出穀類は從前通りポクラにて抑留せらるゝことなく浦鹽まで直通することになつた

一、日支人特產商組合員の連名をもつて穀類を絕對に露領內へ輸出(通過を除く)せざることの誓約書を支那側へ交附すること尙ほ右誓約書には浦鹽における各荷受主を記載して置くこと
一、取引契約成立の都度數量、仕向地、發送並に荷受人の氏名を一々支那側へ報告し穀物發送の後にあつて旬報をもつて同上要項を報告するとゝもに船積の上は船名を報告すること

薩派が床次氏の 入閣を阻止

いよいよ去就に惑ふ

【東京特電五日發】貴族院方面では入閣改造問題に關し國賓殿下御退京後に於て田中、床次兩氏の會見了りいよいよ具體化して床次氏としては結局入閣する他ないであらうと觀測してゐるが最近貴族院の薩派の間に床次氏の入閣阻止運動起り漸く表面的にならうとしてゐる、卽ち其の運動の理由は

國民の信望既に失墜せる現內閣に床次氏が進んで入閣することは氏が單に目前の利害のみに拘泥し將來の立場を考へざるものであり又此の際床次氏が入閣して現內閣を支持せねばならぬほどの理由は見出し難い

といふにある、斯くて床次氏はいよいよ左顧右眄し容易に其の去就を決し兼ぬるであらう

山田代議士脫黨

【東京五日發電】新潟縣選出民政黨代議士山田又司氏は三日正式に脫黨無所屬に這入つた旨民政本部に入電あつた

貴衆兩院議長 特使宮に伺候

【東京五日發電】德川、川原貴衆兩院議長は四日午後四時霞ケ關離宮に伺候グロスター公殿下に謁見仰せつけられ奉詞を奉り有難き御言葉を拜受して退下した

不戰條約の 對策協議

首相と外務當局が

【東京五日發電】田中首相は四日午後三時外務省に登廳吉田次官、歐米局長、松永條約局長を招致し不戰條約問題につき樞密院の形勢依然險惡で解釋留保案の通過もむづかしいにつき對策を協議する處があつた

國際司法關係の 大改善を希望す

領事裁判權の撤廢照會文 きのふ內容發表さる

【上海四日發電】國民政府が英、米、佛、オランダ、ノルウエー、ブラジルの六國に發した領事裁判權撤廢照會文內容は本日發表されたがその要點は

關稅改訂既になり支那の對外的に新紀元を開ける今日各國との友誼を妨ぐる此の種治外法權制度を撤廢し支那と各國との國際司法關係を改善せんことを希望すると述べ各國の回答を要求せるもので撤廢後のことについては今年末までに民法商法が制定されるし法廷、監獄もすべて全國的に整備しつゝあり何等心配はない

と力說してゐる

花に雨……りさ大廣場で

痴人の夢物語り

支那側當局が舊露國紙幣を買占めて東支鐵回收の名案 ルーブル紙幣にも春

古…… 新聞同樣に一貫目何錢と秤賣にされたルーブル紙幣が待てば海路の日和といふか、一昔以上を過ぎた今日此頃になつて再び痴人の夢物語りの樣になるやうになつて來た、一九一七年第一次革命の烽火があげられロマノフ王朝の社稷漸く危殆に瀕せんとするやロマノフ紙幣は急に動搖し始め次いで一九一九年の第二次革命成るに及んで同紙幣の市價は急に直下慘落につぐ慘落で一寸俥に乘るにも何百ルーブルの札束を投出したりレストランの獻立に何千ルーブルのデナーがあつたりしてルーブル成金どもに悲慘な饒舌笑を與へたのも束の間で遂には全く紙屑同樣になつて終つた、

そ…… れでも初めの程は五千ルーブルの紙幣がたゞの一錢で買へるといふので日本邊へも隨分輸出し實際がらくた見物のやうに——されて一時は夜店の大道商人が物好きな冷見客を釣つたものである、しかしそうしたことも永くは續かずそれに露西亞が全く赤の世界になつて終つたので、よもやに引かされて誰れも今まで大事に仕舞つて置いた何貫目の金額に直せば恐らく何百萬、何千萬ルーブルもある札束を何んの惜氣もなく物置小屋へ投込んで殆ど顧みる者もなくなつたのである、事實この哈爾賓でさへ兩替屋の飾り物になつてゐるが、泥棒市場の隅つこに穴明き錢と同樣賣扱ひにされてゐる外、市中には全く影を隱して了つた、斯くて今日まで約十年の月日が立つたのである

處…… で話は一寸別になるが近頃大變鼻息の荒くなつた支那側では主權回復利權回收など濡れ手で粟式の勝手なこと許り考へ出し他人の褌立てを只で御馳走にならうと盛んに智慧を絞つてゐるが、最近思いついたのは今いつた紙屑同樣のロマノフ紙幣を寄せ集めて東支鐵道を完全に買收しやうといふ頗に虫のよい名案である、鼻息の荒さから云へば何も今更ルーブル紙幣などを掻き集めなくとも御得意の軍隊でも差し向け奪回しても良さゝうなものであるが、底には底ありで掛け聲許りは勇ましいがいざといふ處で踏みとゞまつて而もルーブル紙幣でもつて露國側の面子を立てゝ遣らうなどといふ處流石國際儀禮を辨へた大國の思ひ付きである、

然…… しこのルーブル紙幣での東支回收計畫は南京政府邊で多少眞面目に考へてゐる役人でもあるらしい模樣で當地へはいろいろな宣傳が飛んでくる、それに相場師といふ拔け目のない徒者がゐるので最近當地では千ルーブル七十錢位までの叫び相場が出たこともあるが、勿論實際の賣買は未だ出來た事はないのである、今でも國際運輸の倉庫には某舊露陸軍少佐から數年前に預つた十數布度のロマノフ紙幣が埃にまびれたまゝになつてゐる、而もその預け主は每日キチンキチンと保管料を支拂に來るさうであるが、世は今ことごとく春である、某少佐の夢をゆめみるによろしく痴人の夢物語りを聞くに遑はしいときではある【哈爾賓特信】

大連新聞の 十周年祝賀

けふ盛大に

大連新聞十周年記念祝賀會は五日午前十一時半より雨天のため會場を變更し大連劇場に於て擧行した木下關東長官を初め石本大連市長、田中民政署長、佐藤商議會頭、神田內務局長、櫻井遞信局長、滿鐵側よりは社長代理として高柳中將出席し鷹小崗子公議會長、高山大連警察署長以下會するもの約五百先づ栗木副社長の挨拶に始まり寶性社長の式辭、來賓側より木下長官、滿鐵社長、田中民政署長、石本市長外名士の祝辭あり、次で在滿各會社商店十ケ年勤續者の表彰式を行ひ終つて模擬店を開き餘興に歡を盡し四時盛況裡に散會した

人事

▲ボルシー氏(支那駐剳ドイツ公使)四日榊丸にて來連
▲渡邊鏸氏(正金上海支店長)同上
▲寒河江堅吉氏(滿鐵情報課長)同上歸連
▲井上禧之助氏(旅順工科大學長)本日のバイカル丸で內地へ
▲青地乙治氏(元滿鐵社員理學士)家族同伴同上
▲岸田將記氏(代議士)同上

歌集 木蓮

長尾昌一

島原の乙女なつかし火ともゆる山ぶところに生を得けるも
山の火の西に和しつ暮るゝとき島原の乙女さみしからずや
紫の裾濃とともになつかしきまほろしよはた君の俤
御骨ゆゑその性ゆゑにさみしさもいひいでぬにはかなしからずや
三齡の數へもかなし陽炎の幾像めきてすぐろ俤
花柘榴ひとつ散れるを手にとりて泌々見るも一人ゐればや

天氣豫報

六日(曇)南東の風一時雨模樣
日出四五〇分日沒六五〇分
滿潮午前八二五分午後八三〇分
干潮午前一五五分午後二一〇分

若草萠る譚家屯で けふ滿鐵の運動會

微雨で一旦中止したが再開し 各部の應援團熱狂

滿鐵社員のすべてを擧げてこの日の競技に全精神を傾て各必勝を期する滿鐵第十九回陸上運動會は豫定のごとく五日午後八時から各入場個所に紅白の幕を張廻らして美しい装飾を凝らした大連運動場に擧行された、朝から西南の風強く競技開始後九時十分選手百米突競走を開始する頃

微雨を

催し競技の進むにつれて降りの度は烈風と共にますく勢ひを増し競技の續行不能となつたので、一般百米突で終つて役員會を開いた結果各部代表を招集して協議したところ一時中止と決しバックスタンドに陣どつた各應援團は、續々メーンスタンドの屋根下に引揚げたがこの間に雨が歇んだので再開することゝなり州七回の二人三脚から開始するに至つた、應援團は白組の大連驛系統、樺組の埠頭、綠組の鐵道部

黄組の

社長室庶務部系統等が最も盛んで選手競技並に一般の採點競技に優勢なのもこれらの各組で各競技が終つて順位が終る毎にまた優劣の順位の決定することに各應援團席に起る喇叭、法螺貝、擊柝、歸聲、笛聲、喚聲は殆ど耳を聾するばかりで場内の緊張氣分を彌がうへにも昂つた、而して十一時頃薄れ日ながら太陽の光りが見え初めた頃から

觀衆の

數は著しく増して正午前にはメーンスタンドの大部分を埋める盛況を呈し、正午に開始の豫定の當日の呼物である選手一般參加者を交へた星ケ浦往復の一萬米突競走が約三十分遲れて開始さるゝや場内より一齊に拍手起り、右終るや前年度の優勝組綠の鐵道部より優勝杯の返還式があつた

選手競技では 鐵道部優勝

一般責任競技では社長室 正午迄の各部得點

正午迄の各部所對抗競技の得點は左の如し

選手競技の部

綠	（鐵道部）	四〇點
樺	（埠頭）	三四點
白	（驛）	二八點
青	（經理部）	二五點
赤	（地方部）	二一點
紫	（興業部）	一二點
黄	（社長室）	一〇點

一般責任競技の部

黄	（社長室）	三九點
白	（驛）	九點
綠	（鐵道部）	四點
赤	（地方部）	一點
樺	（埠頭）	一點
青	（經理部）	〇點
紫	（興業部）	〇點

かくて選手競爭では正午迄は埠頭が優勢を示した、尚一般責任競爭では一般の競爭では黄（社長室）優勢である

各部競技成績

各競技の成績は左の如くである

△選手八百米
一着　濱田常盛（綠）二分十三秒
二着　木田　正計（赤）
三着　三隅　一二三（樺）

△選手百米
一着　仲田　周一（綠）十一秒五分の三
二着　小數賀源一郎（樺）
三着　中村　繁（白）

△走幅跳
一等　太田　猛夫（綠）五米九三
二等　立中　善助（白）
三等　井上　純良（樺）

△二百米
一着　仲田　周一（綠）二十三秒
二着　小數賀源一郎（樺）
三着　中村　繁（白）

△砲丸投
一等　横井金次（樺）一〇米六三
二等　田中　善廣（白）
三等　齋藤孝四郎（綠）

△千五百米
一着　濱田　常盛（綠）四分二十一秒五分の二
二着　山下　寛一（青）
三着　八重樫榮太郎（樺）

△走高跳
一等　伊藤　清司（綠）
　　　石垣　松吉（樺）
二等　西　　辰喜（白）
三等　柴田　知機（赤）
三等　蜂尾　滿久（青）
三等　吉丸　美德（紫）

御前試合の 劍道部准決勝

畑生氏（關東州）勝つ

【東京四日發電】御前試合の劍道四縣准々決勝の結果は左の如くである

准々決勝戰

一、勝本田勸次郎（千葉）―負河合曉晴（水戸）
二、勝畑生武雄（關東州）―負菅原茂夫（愛知）
三、勝横山永十（福島）―負森出可夫（愛媛）
四、勝北見義造（北海道）―敗南濟（兵庫）

准決勝戰

一、勝畑生武雄（關東州）―負本田勸次郎（千葉）
二、勝横山永十（福島）―負北見義造（樺太）

運動會雜觀

▲年一回の滿鐵運動會と云ふので午前八時ごろからぞくく譚家屯運動場へ急ぐ人々、中でも美しく着飾つた婦人達は九時頃から降り出した雨に濡れて折角のおしろいとおべゝ臺なし。

▲バックスタンドに陣取つた現業園の内、樺の埠頭組は船の汽笛を白の驛組は列車の鐘を鳴らして現業氣分を運動場にも現はしてゐる。

▲新來の南部忠平君赤の徽章をつけて競技委員で納まつてゐる。

▲獅子團のうち白の團長格の小父さん鉢をつけ、大小腰にたばさんで輕妙洒脱な指揮ぶりは滿場を微笑させる。

▲雨と風で十時頃は運動會中止と迄決定しかゝつたら十時半ごろより雨晴れて再び「開始」となる氣早く歸つた人は又引返すと云ふ恰好。

グ公殿下 觀迎會

七萬の學生團

【東京五日發電】都下學生聯盟では五日明治神宮外苑にてグロスター公殿下歡迎會を催すことになり同日午後四時十五分殿下の御到着を待ち英國々歌の合唱捧呈文獻上する筈で當日の參加學生約七萬の豫定である

莫斯科河氾濫

【モスコウ四日發電】當地方のモヤイスク、スヴイナゴランドの兩市およびその附近の十ケ村はモスコウ河氾濫の爲め洪水におそはれて居る、尚モスコウ河は目下刻々に増水して居る

兩汽船を賣却

【東京四日發電】大藏省發表對獨平和條約に依り獨逸より受領した太洋丸（原名カツプフイニステレ）吉野丸（原名クライスト）は日本郵船に對し太洋丸百三十萬圓吉野丸六十萬圓にて賣却された

築港計畫で 開けゆく甘井子

市街地建設工事着手され 視察者續々入込む

新興の甘井子は滿鐵の築港計畫に基く棧橋工事の着手と共に從來の一漁村は面目を一新し大市街地建設の前提として既に周水子よりの引込線や同自動車通路開鑿にも着工され現在新築された滿鐵宿舍二十數戶、ソレに買收家屋を合計すれば百餘戶に達し、人口は滿鐵および福昌關係で日本人約百名、支那人約一千名に及び早くも料理店カフエー、飲食店等も出來て賑はつてゐるが、尚滿鐵では本年中に百三十五戶の宿舍を新築すべく工事中である

石炭棧橋も來る九月中には完成すべく而して全部の築港計畫が完備するに於ては現在大連港に出入する船舶の半數は甘井子港に入港するであらうとの豫測の許に將來の發展を見越し、關東廳土木課ではまた今秋十月ごろより沙河口に水道を延長して施設すべく實地の踏查を行つてゐる、一方滿鐵には病院、學校等を建設する計畫あり、大連署の派出所は既に開所されたが尚水上署の派遣所や海務局の支局並に船舶會社關係の代理店や取扱店の出現するのも近き將來であらう

現在料理店や飲食店、雜貨商等にして營業せん目的のもとに觀察に赴く者引も切らない有樣で頗る活

五月祭り

主催　大連市後援所
後援　滿洲日報社

日時　五月十二日（日曜日）午前十時より午後二時迄
場所　譚家屯大連運動場――參會參觀隨意
參加團體　市内各社交婦人會、各宗教婦人會、各高女同窓會、各女學校、各小學校、各公學堂女生中華青年會女子部等
演技種目　▲五月をどり（女學生）▲落葉舞（中華青年女子）▲五月をどり（小學女生）▲メーボールダンス（女學生）▲蝴蝶月（中華青年會女生）▲渦卷行進（一般婦人女見等全部）▲五月をどり（一般婦人）等

旅順驛頭賑はふ

戰跡見學の旅行團で 毎朝宛然人と馬車との波

氣を呈してゐるが、海水浴に適當した場所もあり、殊に暗夜に眺むる大連の夜景は宛然繪卷物の如く絶景であると

朝の旅順驛頭は全く人の波と馬車で大混雜である、いづれも戰跡見學の旅行團で遊覽客は大體に於て旅大のバスを利用するらしい、四日午前九時半陸軍大學生の一行が二宮憲兵隊長其他軍部側の出迎へを受けて荒木中將に引率され到着し馬車に分乘して先づ軍司令部に向つた、其外學生の團體が既に白玉山から戰跡に向ふあり、人力車、馬車、自動車で狹い道路は埋もれた、五月十日までには廿三團體到着する案内狀が來てゐる、今後は日増しに見學團は激増するが、三日までに關東廳學務課へ通知のあつた學校は

▲五日大分縣立日田中學六三名▲六日朝鮮大邱公立學生六八名▲七日宮崎中學生九十四名▲八日大阪府立女子師範一一六名▲十日香川師範學生七五名▲十一日下關商業一一三名▲十四日福岡商業三二、大田公立中學六三名▲十五日都城商業生四一名の八團體であつた

賣肉取締規則

賣肉取締規則改正案は先に關東廳衞生課に於て起案し既に審議に附することになつたから遲くて六月日までに施行されるに至るであらう

早や陳列窓を 訪れた初夏氣分

婦人服は二十圓も出せば結構 帽子は外國品が安い

金魚賣の聲が若葉燃る五月の空に道行く人のほつかり汗ばんだほてつた顏が見える浪速町通りの陳列窓には既に眞新しい麥わら帽子が飾られすつかり初夏氣分、

あんな一圓均一の帽子と申しますと運賃を入れては全く儲らない品でございます、當地は

關稅

の關係で外國品が安く買はれますのでパナマ帽子が今年も又一番良く賣れると思ひますが、十圓から三十圓處で御座います

と某洋品店での話、麥は別に變りはない樣だ珍らしい處でマニラ麻の帽子がある、値段もサラリマンにも親み易い四圓どころ、洋服屋のショーウインドウも段々明るい色に變つて行く、眞夏になる迄はスコツチ全盛で一般に茶色がゝつた物が好まれる樣だ、暖かくなつて服裝も輕くなつて來ると白いアカシヤの花薫るアスフアルトの上を輕いスカートを翻つて快活に行く洋裝婦人もふえて來る經濟關係もあらうが一般に夏になると

洋裝

する婦人も多い樣だ一體安い處で幾何位で上るかと聞いてみると帽子下着から靴も入れて二十圓も奮發すれば出て歩いて恥しくないだけの事は出來ると云ふ、婦人帽は段々つばが廣くなつて來るが、日本人は背が低いから

議會今昔物語

高田早苗博士が日本最初の議會に最年少の代議士として打つて出た其當時の想出や、今日の議會の觀察、歐米諸國との比較等々現代五月號に發表！國民必讀の記事！

暴動の犠牲者

【ベルリン四日發電】ベルリンノイケンレクにおけるメーデー以來の暴動のための死者數は非公式計算にすると現在迄に廿四名にのぼつて居る、なかにシー、イー、マツケー氏と呼ぶニウジランド新聞記者外一名の現場視察にいつた記者が含まれて居る

餘り受けない、まあ流行は、ぐるく廻るもので私共の店では五年たてば品物は一巡致しますと語つてゐた

孟買の暴動

【孟買四日發電】當地共產黨員暴動の結果死者六、負傷者六十名に達し政府及び資本家は本日對策協議會を開いた

家屋建築の 脫法取締

所管制定變更

大連市には一定の建築規則を施行し新築家屋には當局の許可を必要としてゐるが、最近續々建築される家屋中には規則に違反するものあり、法規の不備のためか又は手續檢查に缺陷のあるによるか其の根本を調査した處、第一所管制度の上に明かに缺陷があることが解せられるに至つた、即ち該規則の主管は土木課に屬してゐる結果脫法行爲者を取締る上に於て不充分であり、勢ひ違反者がある譯であつて其の本質からみれば當然所管は行政警察の範圍に屬すべきものであるから土木課から警務局保安課に移管すれば脫法行爲を取締ることができるであらうと目下本問題に關して研究中である

春季競馬延期

星ケ浦における春季競馬第四日目は雨の爲六日に延期された

南船北馬

◇…今日は端午の節句、滿洲の春はまだうすら寒けれど、柳楊漸く新。

◇…五月一日のメーデーを期して馘首された東鐵社員は、保線區から支那人一三五名、露國人一一七名、支那籍露國人四八名、入區線路課から二二名、合計三一四名。

◇…連日の強風は雨となり、高原地帶の吉敦沿線では一面の銀世界、春とは名のみ、そこ冷のする氣候には日支人ともに感冒と胃腸病が多い。

＝滿鐵運道會から＝

（上）土俵競走（下）鐵道部の應援團

夫高島清藏儀急病の爲め五月二日午前八時五十分永眠仕候間此段御通知に代へ謹告仕候
追て葬式は來る六日午後四時途中葬列を廢し藤津町大聖寺に於て相營み可申候向勝手乍ら供花等の儀は堅く御辭退申上候

妻　キク
男　隆一
同　武穀
親戚　秀孝
總代　三郎
同　忠治
友人　次郎
總代　孝次郎
　　　平次郎

合　場
秀　德
鴨　井
山　崎
多　田
吉　岡
指　田

（親戚・友人總代氏名の配列判讀困難）

コドモページ

懸賞童話（佳作）　お日樣の子供（中）

長春　山田健二

滿雄さんは初めの内はあまり氣にもなりませんでしたが毎日毎日きまつて只雪や雨の降つてゐる日だけ通らないので段々不思議に思つて來ました。

「誰だらう……？」

「お家はどこだらう！…？」

「何處へ行くのだらう…？それとも何處へ歸るのだらう…？」と考へましたがどれも分りませんでした。着物はあまり綺麗ではありませんが顏は取たての林檎の樣に輝いて、身體中から御光がさしてゐる樣でした。

線路の向ふ側はズーツと高粱畑でそれが終るゝ石ころの原が限りなく續いてゐて一人も人は住んでゐないのに毎日夕方その方に行くのですから不思議でたまらないのです。いつも見へるだけ見てゐるのですが、あまり夕日が輝いてまばゆいのでつい目ばたきをしてゐる間にお日樣も少年の姿も見へなくなつて只あたりが眞赤に燃えた樣に輝いてゐるのでした。

日曜日……其の日は珍しく暖かいので前の驛長さんの子供も外に出て雪を箱に入れて南向の窓の下で「お砂糖屋さんゴッコ」をしてゐましたので滿雄さんも長靴をはいてひもで肩に廻してゐる手袋をして外に遊びに出ました……家にばかりゐて久し振りに外に出ましたので氣持がよくて時間のたつのも忘れて遊んでゐましたが。

「ゴー」と車の音がしていつもの下り列車が入つて來たのでビツクリして遊ぶのをやめて汽車の窓を一つ一つ見て行きましたが終りまで見きらない内に汽車は又動き出しました……

「あゝそうだ、もう來る時分だぞ！」と滿雄さんは向ふ側の細道を見ますと……やつぱり光つた少年が一人ロバに乗つて何百里も歩いた樣に疲れ切つた樣子でトボ／＼と歩いて來ます……時々天の方を見てゐますが丁度少年の眞上にお日樣が光つてゐます、滿雄さんは「どんな顏をしてゐるのだらう」と、線路をこえて畑の方に近付きましたが、近付けば近付く程まばゆくてとても目があけておられません、無理にあけてゐると、目が痛くなつて涙が流れて來ます……たまらないので思はず目を閉ぢて又開いた時にはもういつもの樣にお日樣も少年もロバの姿も見えなくなつて線と空の境が一面に赤く輝いてゐるだけでした。

「あゝ殘念だな——今日こそ見破つてやらうと思つたのに…」

とくやしがつてゐますと

「滿雄さん何時まで遊んでゐるの……？風を引きますよ……もう家にお入りなさい」とお母樣が臺所の小窓をあけて呼びましたので滿雄さんは夕燒の空をもう一度名殘おしさうに眺めながら家に入りました。

童謠　せきせいインコ

香帆琉

インコ
胸毛の青い色
ねむの葉のよな
細い毛だ
何時になつたら
あのねむの
桃色の花が
咲くであらう
インコの胸毛に
ちらほらと
紅の模樣は
きれいだろに

今日は嬉しい　端午の節句

はるみち

父。三郎は今日は嬉しさうな顏をしてゐるな

三郎。だつて今日は僕等のお節句ですもの

一郎。三ぶちやんはおごちさうが食べられるから嬉しいのだらう　いやしんぼうだな

三郎。兄ちやんだつてさうぢやないか、やーい、兄ちやんのいやしんばーう。

父。又喧嘩か、いくら尚武のお節句だからつて喧嘩なんかしちやいけないよ

一郎。お父さん、今日はうちで菖蒲湯をたてるでせう

父。あゝたてるとも

一郎。お節句にはどうしてお風呂に菖蒲をいれたりするの？

三郎。それは面白いからだい

父。さうぢやない、これにはいわれがあるんだ、昔から菖蒲湯に入ると其の年一年は病氣にかゝらないと言はれてゐる。之は菖蒲が身體を丈夫にするのにたいへんよく利く藥だとされて居たからだらう。地方によつては菖蒲に蓬といふ草を添へて檐に挿すところもあるが、それは一家の無事息災と火災をよけるためだといふことだ。

三郎。お父さん、お節句にはどうして鯉幟をたてるの？

父。うん鯉幟か？先づ幟はね、昔はおさむらひが戰に出るときにたてたものだ、それをまねて男の子のある家では子供が勇ましくそして立派に成人するやうに幟を立てゝお祝をするのさ、それから鯉の吹流しだが、この鯉といふお魚は池や川に居る魚でまことに元氣がよく、どんな急な流れでも、どんな瀧でも勢ひよくのぼつてゆくので子供も鯉のやうにぐん／＼上に登つて出世をするやうにと鯉の吹流しを立てるわけだ

三郎。僕だつて屋根にでも木にでも登れるよ、此の間遠足で若草山に登つた時は僕が一等だつた

一郎。そんなことぢやないよ、上に登るといふことは偉い人になるといふことぢやないか、馬鹿だなあ

三郎。だつて一等になれば偉いぢやないか

父。又喧嘩か、喧嘩などして居ちや決して偉い人にはなれないぞ

母。お待遠さま、おごちさうの用意がすつかり出來ましたよ、さあ、みんなでお座敷にいきませう。

三郎。あゝ嬉しいなあ

一郎。嬉しいな

父。（默つてニコ／＼）

動物の世界……ウーリーオポサム

何かの音に目をまん丸にしたウーリーオポサム君「オヤ、誰か來たやうだぞ」と言つたやうな表情で自分の尻尾につかまりながら頭をもち上げてゐる。ウーリーオポサムは全身羊毛の樣な柔かい毛で被はれた袋鼠の一種で、面白いことに此の動物は眠る時木の枝につかまつたり草の中にかくれたりするのでなく木の枝に自分の尻尾を巻きつけぶらりとぶら下つて眠るのです。まことに危い離れ業ですが眠つてゐる中に決しておつこちたりするやうなことはないさうです。

二ドメノ大チヤンノタンケン（45）

ハルミチ作　ジラウ畫

オソロシイ　モリノ　ヨルガ　チカヅイテ　キマシタ。キノエダニ　ツリサゲラレタ　大チヤンハ　ドウカシテ　ナハヲ　キラウトシマシタガ　モガケバモガクホド　ナハハ　ツヨク　シマルバカリデス。

「ブルガナツカシイ　ブルハドコニイツテシマツタノカシラ　ブルガキタラ　ナントカシテタスケテクレルカモシレナイノニ　コマツタナア……。」

大チヤンノメニハ　ナミダガタマリマシタ。大チヤンハ　クチブエヲフイテ　ブルヲ　ヨンデミマシタ。シカシ　キコエルモノハ　カゼニキノハノ　ユレルオトバカリデ　ブルノクルヤウスモ　アリマセン。大チヤンハ　イヨイヨ　カナシクナリマシタ。

jiro

五百人を乘せる飛行機の模型

これはロスアンゼルスのクラウド、エチ、フリーズ氏が考案した大航空機の模型です、此の飛行機は乘客を五百人も乘せることが出來一時間の平均速力は實に百二十五哩何と素晴らしい飛行機ではありませんか

學校と家庭

常設館映畫の學生に及ぼす影響　文部省最近の調査

文部省ではさきに國際聯盟の提唱に基き映畫に對する諸種調査を行つたがその際學校當局の興行映畫が學生に及ぼす影響如何を問ふた。これに對する東京府立六中の報告は左の如くである

映畫

映畫は殆ど觀客本位の卑俗なもののばかりといつてよいかと思ふ、觀客が卑々雜多だから、何れの觀客にも滿足を與へようとして段々卑落してゐる。息づまる樣な人間爭鬪、たゞれるやうな愛慾地獄、厭世的な人生觀、淫蕩な爛熟しきつた畫面等何れを見ても強烈な刺戟を與へるものばかりである。現代の學生、殊に上級生は、その年齡及び生理的關係と一面環境的惡影響に支配されて普通のものでは到底滿足されず段々に深刻なものに落込んで行きつゝある。觀賞的態度といふよりも單なる慰安的、娛樂的な氣分で觀てゐるから知らず識らずの間に映畫に引づり込まれ眼と心とを墮落されてゐる

興行場

興行場そのものが衞生上、風紀上よくないことは勿論である。常設館の附近に蝟集する青少年の多くは眞面目な者でなく所謂不良性のものが多い。性行不良の者はどうも暗黑な所を好む。常設館は室内が暗い、暗黑と犯罪とはつきものだといふ言葉があるが、活動寫眞を好む生徒はその素質を多分に持つたものまたはその傾向あるものが多いやうである。從つてかゝる所へ出入すれば勢ひ道德心を低下せしむるとは爭はれないのである

辯士

常に觀覽するものは何時の間にか辯士の口眞似をするやうになる。然もその辯士の説明なるものは野卑低級であつて眞實がない。要するに今日の興行映畫は教育的な價値は少く寧ろ甚だしい惡影響を與へてゐると思はれる。而してこれを生徒に就いて觀察して見ると

一、強い刺戟の爲めに甚だしい疲勞を來す。
二、頭が散漫になつて來て思考力を減退させる。
三、映畫を好む生徒は學業が低下する。
四、道德心を低下せしめる。
五、感情本位となつて理智生活が薄くなる。
六、子供の無邪氣さを失つてませて來る。
七、性に對し敏感で、一般に早熟である。
八、金錢を浪費し金に困ると惡事を始める。

學校だより

◇日本橋校小運動會　日本橋小學校では昨日の午前中同校々庭に於て端午の節句のお祝ひを兼ねて小運動會を催したが當日は惠まれた春日和だつたのでお母さんたちの觀覽もあり頗る盛會であつた

金剛呪門（229）

山中峰太郎作　小田富彌畫

祇園の書

スツと立上つた北辰の小天狗大刀をさげたまゝ會釋もなく、次の間へ歩み出た。と、そこの敷居の外に、ピタリと坐ると、定敬の方へ、いんぎんに兩手をついた。

「叔父上！さらば、御免を！」

「待て！敎彦！」

と、定敬はズシリと呼びとめた。

「…………」

呼びとめた叔父を、言葉なく見あげた敎彦、そのまゝ立上ると、早くも緣へ出た。

……言ふべきことを言ひ終つて どこへ行く？と、振返つて見送る隼に、定敬が聲をかけた。

「留ろ！腋野！」

「ハツ！」

立上つた隼、ツ、、と次ぎの間をすべるやうに緣へ走り出た。虎三も一緒に走つて出た。

「若樣！暫く！」

敎彦の後へ追ひすがツた隼、聲と共に前へ廻つて膝まづいた。

「御前の仰せ、一先づお引返しを！」

「成らぬ」

と、緣に立ちどまつた敎彦、

「退け！」

「いえ、一應、お歸りを！」

「留るな！腋野、己は行く所へ行くのだ」

「しかし、姬君にも、お待ちかねでございます」

「…………」

隼を見下す敎彦の瞳に、ツと涙が浮いた。その顏をそむけると

「あの西陣の數之助も、今朝からは、無事でをらうな？」

と敎彦、不意に別のことを言ひだした。

「いかにも、只今は、家に安堵してをります……？」

「いや、十合の家の主人にも、よろしく言ふてくれ！」

と、同時に、ヒラリと緣を飛び下りた敎彦、そこにある草履を穿くや否や、後も見ずに庭の枝折戸へ歩きだした。

それを見た隼、今は留まらぬと頷きながら、

「オイ虎三！どこまでも追へッ？見られても構はぬ。追へッ！」

囁く聲を聞いた虎三、

「合點だ！」

これも緣を飛びおりた。

枝折戸を出た敎彦、砂利の上を通用門の方へ急いで行く。路へ出ると、暫く行つて片方へ折れた。

……何處へ小天狗が行く？

と、尾けてきた虎三、角の壁から首だけ出して見ると、折しも向ふから來かゝツた辻駕籠を、いきなり呼びとめた敎彦、それに乘ると、忽ち早打ちの如く急がせて行く……

……あゝいけねエ！

と虎三も後から見え隱れに走りだした。

駕籠は更に路を曲がつた。南へ取ると、四條の大通、賑はしい人通の中を、東へ折れた。やがて渡る大橋をすぎて行く……

……おやツ？祇園だぜ！

と虎三、走りながら小首をかしげた。

……祇園といふ所は、晝に行く町ぢやねエ筈だが？

その祇園の町、晝は何くなく佗びしげに靜まつてゐる。格子の並びも、晝こそ反つて眠たげに、ウツラ／＼と陽の光を浴びてる中を通り拔けた敎彦の駕籠は、島村屋の前に下された。

垂れを揚げて立ち出でた敎彦、前の暖簾を見つめた。

昨夜の火災に漸く類燒を免れた島村屋、奥には、女の聲がざわめいてる……

「……誰か出てこぬか？

と、ためらふ氣はひの敎彦が、暖簾を拂つて中へ入つた。

……變だなア！小天狗が、あんな所へ入つたぜ。

と、路の角に佇んでる虎三、まだ動いてる暖簾を見つめながら、またも小首をかしげた。

……一體、何をしに、こんな所へ早駕籠で來たんだい？

◇◇無法者◇◇ マキノ時代劇押本七之助監督作品谷崎十郎主演澤田敬之助松浦筑枝助演の六巻もの【四日から演藝館上映】

映畫と演藝

愈よ大河内 日活に復歸

昨冬以來映畫界の大きな話題となつてゐた大河内傳次郎の日活復歸問題は牧野省三氏が故澤田正二郎の遺志によつて調停役となり圓滿なる解決をなすべく盡力中であつたが、今回河部の脱退によつて日活は全く中心人物を失ふ事となつたので俳優脱退に對しては最も苦き經驗を有するマキノ省三氏夫妻の心意氣により急轉直下に解決し日活に復歸することになつた

五月に入つて映畫界は大掃除に押されて暫く一服▲十日の春祭りを當込んで電園下ではけふから木下巡業團のサーカス▲九日の宵祭から歌舞伎座で日本少女歌劇座が開演▲映畫館はお正月以外は大連に紋日がないと許り納まり返つてゐる▲解説者のトテモ立派な控室を作り次で試寫室を設けた演藝館で今度は看板部を新設▲早速技師の井上君が弟子入りしたなんて言ふと叱られるが、井上君の器用なことは浪速館の林サンと好一對▲最近大連映畫界に火がついて餘り騷ぎ廻るから今井檢閲官のお手のものである消防の方で一つ消していたゞいてはどんなものでせう

「金剛呪門」映畫會
讀者優待割引券（一人一枚）
（この券持參者に限り割引優待）
四日から演藝館で晝夜二回
主催 滿洲日報社

「金剛呪門」映畫會
讀者優待割引券（一人一枚）
（この券持參者に限り割引優待）
四日から演藝館で晝夜二回
主催 滿洲日報社

大連映畫界の進むべき道？【四】

永賀見太郎

眼前に迫つたトーキー時代レヴユウ時代に對して新館計畫者はその用意を怠つてはならない新時代に備へる戰鬪準備だけは是非必要である、協和會館にトーキー映寫裝置が設備されるのも遠くあるまい、また協和會館は最近約四千五百圓を投じて舞臺の照明裝置を完成して映出に萬全を期してゐる、斯くの如く映畫興行を目的としてゐない協和會館に於てすら常に映畫界の進展に励はんとして着々と新設備を考究しつゝある時に映畫館が時代意識に覺めず平然たる事は自ら將來の經營興行上の難關を招致せんとするものである。

要は時代に覺めて映畫館の設備を根本的に改革し本格的興行により現狀を打破する事が大連映畫界を救ふ唯一の道である而もこのことは從來屢々力説され私自身も幾度か提唱したところであるが遂に今日まで所謂理想論として葬り去られて來た、しかし混沌たる大連映畫界の現狀の底に流れる舊時代の沒落を眼前に見る時興行者は眠りから覺醒して蹶起すべき秋に直面してゐるのである、私は最早この一文を理想論と考へられない大連映畫界の轉換期を冷靜に看取し得られるのである、最近の映畫界の動きは可成り逼迫したものがある、現在最も良きコンディションにあると確信する人も一歩を誤れば恐るべき危機を招來するであらう、而して今日は所謂陰謀の時代ではない、正々堂々たる合理的合法的政策を確立すべき時代である。

(日刊) 滿洲日報
昭和四年五月六日 (月曜日) THE MANSHU NIPPO 第八千二百五十五號 (一)
會員募集
晩近初等數學講座
全十二巻
締切 五月十日
即刻入會せよ!!
本講座の配本開始するやその豊富、懇切、清新なる内容は自ら衆目を獨占し、申込は幾何級數的に激増し、吾等は日夜感謝と感激の内に殺到に忙殺さる!
締切迫る
吾等は確信する!
本講座によつて何人と雖も極めて容易に數學を征服なし得ることを
配本開始
書店に品切の場合は直ちに本社へ請求せられよ。
内容見本進呈
東京神田・南甲賀町 共立社
正隆銀行
頭取 安田善四郎
江川金細工店
醫療器械商
合資會社 村谷洋行
ウオーターマン萬年筆
アメリカントランプ
Waterman's Ideal Fountain Pen
滿書堂文具店
自動車の御用は
電話 8630 5824
禪海一瀾講話
釋宗演師著
正信問答
静坐のすゝめ
坐禪の捷徑
心學忠孝道話
無門關講義
金剛經講義
坐禪和讃講話
禪林句集
忽滑谷快天師著
禪宗辭典
山田孝道師著
禪學講話
日日の信仰と工夫
聖訓講話
禪宗曹洞聖典
佛教のすゝめ
修證義說教大全
信心銘講義
證道歌講義
坐禪用心記講義
學道用心集講義
佛遺教經講義
碧巖錄講話
釋宗演禪師著
原人論講義
般若心經講義
四十二章經講義
父母恩重經講義
維摩經講義
校補點註 禪門法語集
夜船閑話
雲水物語
人は何の爲に生れたか
生死問題の解決
人格の階級と標準
達磨禪
發行所 光融館
何と言ふ美味さ!
このビーナスの馬のかしい香りこそ貴方の一日の疲勞を癒してくれる唯一の仲介だ
高級トルコ巻
ビーナス
東亞タバコ
慶弔進物品問屋
藤井卯商店進物部
眞鍮看板
ネームプレート
調製
沖本ブリキ店
鐵道用品附屬品
車輪
製作
鳥羽洋行鐵工部
製作迅速
在庫品有
御入用の際は是非御照會成下度候
羅紗小倉厚司
山本洋行
新聞の不配達其他の故障は電話四七六七番へ
不思議!?
クリームのやうに滑かで細かい泡が無限にたつけれど中々減らない!
この鼈甲のやうにもちのよい一塊が最後まで泡になるとは何と不思議!?
品質本位
花王石鹸
製造元 東京馬喰町 花王石鹸株式會社長瀬商會
最新刊
勤王時代
學習要領
オルガン集
古希臘風俗鑑
經濟篇
道徳教育新論
談話室
豐島與志雄集
經濟學
初めての心理學
漢和辭典
我物語
手技工教材
侯爵の服
轉迷開悟
大連市大山通 滿洲書堂書籍部
最新刊
手工を教へる手
結婚讀本
挨拶と式辭
女性寶典
家政篇
妊娠と安産
民法
抱月全集
支那趣味の話
青春獨逸男
太平記
初歩電氣學
初歩機械學
洗濯の實際
都市問題
ルパン探偵譚
ハウフノ童話
大阪屋號書店

濟南城內警備の引繼愈よ終了す

五日正午我軍は引揚ぐ

【濟南特電五日發】南京軍の憲兵隊は五日午前九時より入城を開始し十一時頃までに城內の警備引繼を終り日本軍は正午より行進喇叭を先頭に步武堂々商埠地に移駐した城內の警備はこれを以て完全に引繼を終つたわけである

河南省において蔣馮兩軍遂に衝突

歸德附近で激戰中

【南京四日發電】支那側情報によれば蔣介石氏系の徐源泉軍と馮氏系の鄭大章軍とが河南省歸德附近にて衝突し激戰中なりとつたへらる、國民政府は右を極秘にふし新聞揭載を禁止した

討馮準備として學良氏武器を輸送

軍用列車で山海關へ

【奉天特電四日發】張學良氏は討馮準備として三日午前八時發平奉線に軍用列車を整へ機關銃三十架、彈藥五十萬發を山海關方面へ輸送したと

南京政府に對し萬事泣寢入

馮派の態度きまる

【北平四日發電】薛篤弼氏は一日濟南において馮氏と對南京態度を協議したが、昨今蔣介石氏の馮玉祥氏に對する行動は曩に蔣氏が江西派に採つた行動と同樣で、山東問題をきつかけに各方面から河南にせまらんとしつゝある故今回は萬事泣き寢入りとし南京の命令は御無理御尤もで聞くことに決し、蔣氏は南京政府に對して開封にある旨打電した、又開封にある鹿鍾麟氏も馮氏と面會後十日迄には南京に歸る旨打電し南京政府の御機嫌を損ねぬ樣腐心してゐる

馮派廣西派要人左遷

四日附命令で

【上海五日發電】國民政府は四日附命令で馮派、廣西派要人に對し左のごとく人事異動を行つた

軍政部長代理 鹿鍾麟

免本職並に兼職

陳儀

任軍政部常任次長軍政部長代理を命ず

外交部次長 唐悅良

同 朱兆莘

免本職

廣西省政府主席兼廣西各部隊編遣主任

黃紹雄

免本職並に兼職

伍廷颺

任廣西省政府主席

晉煥炎

任廣西各部隊編遣主任

故孫文氏遷柩祭と我代表

【東京五日發電】故孫文氏の遷柩祭は六月一日全市をあげて盛大に行はれるが、我國よりは正式代表として芳澤公使が當り、犬養毅氏は半官的な國民代表の形で參列することゝなる筈である

英米の石油日本品壓迫

局子街方面で

【間島特電五日發】吉敦線の開通後北滿より歐米の雜貨が續々間島に流れ込んでゐるが、中にも石油とメリケン粉が最も多く、局子街銅佛寺方面の如きは英米の石油が日本の石油を全く壓倒してゐる

外字新聞の郵送拒絕

國民政府中傷記事に立腹

【上海五日發電】國民政府はノースチャイナデーリーニュースが國府中傷記事を揭載したとて英總領事に取締を要求して居たが、遂に本日支那官憲は同紙の郵送を拒絕し同時に同紙が貨物として輸送さるゝをふせぐため稅關に對し一切の船舶を搜査すべき旨訓令した

條約問題は歸任後折衝開始

芳澤公使長崎で語る

【長崎五日發電】駐支公使芳澤謙吉氏は條約問題協議のため五日長崎入港の上海丸にて當地經由東上したが語る

今回の南京訪問の目的は南京、漢口事件解決文書調印のためである、これは六日東京南京で公表の筈である、山東引繼ぎに關しては既に支那側より發表された通りである、反日會は救國會とあらため依然排日を繼續し國民政府も取締りをなして居るが、その威令も勢力範圍內だけにはおよび居るもとかく取締りの徹底を缺くは遺憾である、しかし今回解決の南京漢口事件の約束によりこのまゝ看過することなきを信じて居る、國民政府承認問題については條約問題解決後とされて居るが自分一個の考へとしては同問題の解決をまつ要はあるまいと思ふ、ことに日支の懸案解決は現政府を相手として解決され外交的儀禮交換も行はれて居るのであるから事實上三月以來承認されて居る形である、大使館昇格は何れ政府と協議決定を見るならん、東京滯在は二週間で歸任後條約問題につき折衝開始の筈

山階宮茂麿王撫順御見學

【撫順特電五日發】六日午後一時五十五分の列車にて士官學校生徒一行と共に山階宮殿下御來撫、露天掘その他を御視察遊ばさるゝ筈

新懸賞制度を設け撫順の從業員優遇

過般實施の八時間制と相俟って採炭能率增進のため

【撫順特電五日發】撫順炭礦では勞働爭議の一種も發見されない位勞資仲よく日每の作業に精勵してゐるが炭礦當局では更に從業員に對する優遇策として特殊の採炭所を除く

全坑をあげて「一年間を通しての懸賞制度」を實施することゝなつた、此制度は八時間制と相俟つて各從業員の能率增進を目的とするものであるが一日とか一週間の短期間でなく一ケ年を通じて各採炭所の出炭難易を類別して一人一日の出炭量を最も困難な坑は〇、三六七噸、掘易い所は〇五八七噸、また東西露天掘の如きは一、五八八立方米突を基礎標準として一年間を通して坑內掘は一割五分以上、露天掘は二割以上採炭したる坑の從業員には定期のボーナス以外洩れなく多額の懸賞金を授與するのである、右は單に

採炭工のみでなく各坑の採炭所長より現場係員華工全部を一團として從業人員に應じて成績優秀なる何れかの採炭所が懸賞金を握り得るので各坑の全機關が

山東金家河口で乾元號發見さる

乘船中の殘兵約四百名は武裝解除して收容

【青島特電五日發】青島日本領事館より關東廳に達した情報によれば張宗昌氏に徵發されその後行方不明であつた支那汽船乾元號は二日山東金家河口(青島の東北約二十里の地點)において支那軍艦に發見され乘船中の殘兵約四百名は武裝解除の上嶗山灣岸大淸宮に收容されることになつたが船長以下船員は無事であると

—◇英特使殿下の御居間◇—

英特使殿下グロスター公御滯京中の御宿舍には霞ヶ關離宮が當てさせられたが寫眞は離宮內の殿下の御居間

紅白兩班秘密裡に深更まで作戰

一般讀者も選手以上の熱心さで所要時間を研究中

發表以來各方面に多大の興味を以て迎へられてゐる本社主催の滿蒙鐵道驛傳競爭は、開始までに僅か二週間となり紅白兩班とも各深更まで秘密裡に作戰を凝らしてゐる、十五鐵道全長三千四百二十四哩といふレールの上を

如何に順序よく走るか或は滿鐵本線を最初に走破し、或は十九日午前八時十分長春行急行列車發車と同時に自動車を飛ばして旅順に到る等、既に兩班とも數種のダイヤグラムを作成し、一分一秒の無駄なきよう研究に研究を重ね、各班顧問を訪ねて知惠を借りては案を練つてゐる、一方一般讀者は新要時間投票のため凡ゆる參考書を蒐め、吾こそ見事的中して一等の榮冠を得んものと參加選手より以上の熱心さを以て研究して居り、此の十日より投票を開始することゝなつてゐるので市中到る處「滿日主催滿蒙驛傳競爭」が

話題の中心となり、引續き滿蒙地點、競爭順序等について論じあつてゐる、かくて滿蒙にけるけ最初の催しであるこの驛傳競爭は今や滿蒙日支人の興味の中心となり多大の人氣を呼んでゐる

地方委員聯合會終る

【奉天特電四日發】滿鐵地方委員聯合會第二日は四日午前九時から續開、先づ奉天提案の滿洲に高等學校設置要望の件を討議し委員附託となり、女子專門學校設置の件並に滿洲に高等商業學校を設立の件も共に委員附託となつた、次で在滿鮮人學校をして在外指定學校の取扱を受くることを滿鐵本社に要望の件について保々地方部長は朝鮮人の教育問題は重大にして當局も朝鮮總督と共に充分憂慮してゐると述べ、全滿に亘る鮮人の實狀及び思想について說明あり、討議の結果滿場一致を以て可決され十二時十五分休憩、委員を藍平、瓦房店、遼陽、奉天、開原、安東、撫順の八箇所に指名し午後開會に先立ち特別委員會を開き安藤(奉天)委員よりその結果を報告し本會議に移つたが公學堂經營に關する件及び女學校四年併置方の件は何れも否決され、附屬地不動產に關し其處分及び金融方要望の件は委員附託となつた、次いで中間驛の貨物防濕を完備されたく滿鐵に要望の件、附屬地邦人產業助成の徹底方要望の件、信託會社の創設促進を要望の件を可決し、その他軍要議案を附議して午後四時五十五分閉會

それより特別委員任期滿了につき改選を諮り議長指名で安東、長春奉天、開原、大石橋の五ケ所に決定し最後に保々地方部長の挨拶あり之に對し荒川氏は委員代表として答辭を述べ午後六時より金城館にて盛大なる懇談宴を催した

金票賣買て奉票の價格維持

支那側對策に腐心す

【奉天特電五日發】支那側に於ける奉天票の價格維持にはあらゆる手段と方法をめぐらしてゐるが更にその效果なく益々暴落的氣配が濃厚となるので官銀號筋でも大分頭を痛め極力之が對策に腐心し最近では新市街の主なる兩替店に銀號員を派遣せしめ金票賣買に依つて價格の維持に努めつゝある

朝鮮人懷柔策に大金融機關設置

支那側着々準備を進む

【間島特電五日發】支那側が朝鮮人の懷柔策として間島に大資本の金融機關を設置すべく計畫してゐるが、昨年の水害以來鮮農の疲弊

治外法權撤廢勸告の通牒

伍駐米支那公使よりス國務長官に對して

【紐育四日發電】支那公使伍朝樞氏は去る二日國務長官スチムソン氏に對し支那における治外法權撤廢勸告通牒を手交したが、氏は本日當地における演說において外國人は支那の法治組織が一標準に達することを目標として進まんことを望んで居るが、斯くのごとき標準においては領事裁判權の存續はゆるされないとのべた、尙今回の通牒本文は合衆國にては來る六日朝刊新聞に發表されるが、支那本國でも同時に發表されると說明した

甚だしきものがある爲め前記金融機關の設立には絕好の機會であるとなし目下吉林の永衡官銀號に對して其の實現方に關し交涉中なので或は本年中に何とか形に現はれるであらうといはれてゐる、なほ一說に依れば右計畫は既に延吉交涉署長張書翰氏と永衡官銀號との間に協定成立し龍井又は局子街及び琿春の二個所に設置する豫定であり龍井に於ては互商裕源東氏をして貸付事務の取扱ひをなさしむることに內定してゐると

古城子露天掘にスキツブを使用

深部石炭揚炭のためけふ國松調査役ベルリンへ

【撫順特電五日發】古城子露天掘では現在四臺のエンドレスを以て揚炭してゐるが年每の事業進展と共に益々深部石炭の揚炭裝置をする必要を生じたので七百五十尺位深部の揚炭に適するスキツブ三臺を新調する事となり國松調査役は右購入その他設計打合せのため六日午前撫順驛發シベリヤ經由約四ケ月の豫定にて獨逸ベルリンに向ふ事となつた、因に右助手として目下倫敦に留學中の武田勝利氏がベルリンに向ふと

關東廳で下附の昨年の海外旅券

商業視察が最も多く旅行先では米國が一

關東廳外事課で昨年中に下附した海外旅券數は九十七、其のうち商業視察三十二、工業十八、學術研究二十で滿洲に於ける商工業の前途に對する問題と研究を半面に現はしてゐる其の外遊歷十四、農業視察三、宗教研究一、轉勤六、呼寄せ三であつたが

旅行先は米國は商業、獨逸は學術研究が多く米國三十四、獨逸十八、英國十一、露國十二、ジヤバ三、ボルネオ、スマトラ、ポルトガル、西貢、マニラ、スラバヤ各一名、工大學生が印度へ地質學研究の調査のため一名向つたのとブラジル渡航が一名は毛色が變つてゐる、其等の旅行者は三分の二まで滿鐵で其他は關東廳官公吏商工業民間方面は極めて稀である、これは州內に於ける狀況だが、滿洲對海外との直接商取引の少ない半面を物語つてゐる證左である

出勤退社時間の繰上げ成績良好

撫順炭礦關係者所感

【撫順特信】全滿に魁けて「夏時制」を實質に於て五月一日より實施した撫順炭礦の山西炭礦長、久保次長、中野庶務課長、山田文書主任、安藤人事主任其の他各方面の所感を敲いて見ると結局次の如く一致する

太陽がかんかん照りつけてゐる時分まだ寢床にもぐつてゐるが如きは根本に於て間違つてゐる日出四時五十分位の昨今七時出勤は何等苦痛でないのみならず午前中の冴えた頭で一日の仕事の過半をズバ〳〵怪刀亂麻を斷つ如く片付けて行く事の出來るのは自分乍ら快心の至りだ、而も是れから日每灼熱化する滿洲に於て重要な仕事を涼しい間に仕上げ得ると言ふ事は能率增進の上から非常によいと思ふ、且つ退出時間が早いため私有時間が延長され最も都合がいゝ

奉天管內の徵兵檢査

成績前年より不良

【奉天特信】奉天署管內の徵兵檢査は四日から開始されたがその成績について澤田奉天署兵事係は語る

まだ檢査を始めたばかりで詳しい事は判らぬが昨年の受檢者中三分の一甲種合格に比較し本年は四分の一位であるからその成績は餘りよくないやうである、五日は奉天、六日は開原、鐵嶺遼陽となつてゐるが一體に體格が例年より劣つてゐるのは甚だ

奉天北陵間の遊覽列車

【奉天特電五日發】支那側の新計畫である奉天北陵間の遊覽列車はいよ〳〵本日から每日曜に運轉することゝなつた、第一日の第二列車は午前九時出發したが遊覽客極めて多數あり十五輛連結の車輛も全部滿員の盛況を呈した、これがため北陵は近來にない人出であつた

經濟諸問委員會議

心細い

【ゼネバ特電四日發】國際聯盟經濟諸問委員會第二回の會合は來る六日からゼネバに於いてベルギー前首相チユース氏議長となり開催され去る一九二七年に開かれた國際經濟會議の勸告を各國が如何に實施しつゝあるかを審査し且つ將來の對策を議する筈であると

關東廳辭令【四日附】

關東州小學校訓導 三柳トミ

文官分限令第十一條第一項第四號により休職を命ず

正六位勳六等 橋本五作

同 橫佩章吉

正六位 生野熊一

敍從五位(各通)

從六位勳六等 今井順吉

同 勳五等 土屋錢郞

同 勳六等 三木卓

同 勳五等 野原正雄

從六位 猶谷乘蓑

敍正六位(各通)

正七位 重友毅

西川武一

春日眷之助

敍從六位

從七位勳六等 福永高介

從七位勳七等 吉藤太郞吉

敍正七位(各通)

・・・・・・

はるびん丸無電 六日午前十一時港外着の豫定

・・・・・・

安田相子

▲ある宴會の席上で滿鐵運動部の岡部平太君と關東廳體育主事山本壽喜太君との思ひ出話▲兩君が高師在學當時……岡部君ある年の學生相撲大會に見事優勝して一口の業物を賞に貰つたものだ▲さあ先生何か切つて見たくて堪らず腕がムヅ〳〵するので寄宿に歸ると丁度其の時山本君の國許から屆いた仕立て下しの羽織を無理矢理に借用しそれを陣羽織のつもりで洋服の上に着け業物を片手に暗夜に乘じて運動場に立ちいでた▲そして運動場の一隅にある百本近くの芭蕉の莖を人を切るやうなつもりでスパリスパリと切りまくり忽ち全部を薙ぎ倒してしまつた▲漸く腕の鳴りが納まつた岡部君刀のノリを山本君の羽織で拭ひ何食はぬ顏で寄宿舍に歸つたが翌日忽ち惡事露顯に及んで舍監からさん〴〵油をしぼられすつかりしよげてしまつたが▲それ以上にしよげたのは山本君で國許の母が心をこめてこしらへた仕立て下の羽織も芭蕉の汁で臺なし▲山本君怨めしさうに當時を思ひ出して曰く「芭蕉の汁のネバ〳〵することをあの時始めて知つたよ」と

渾身の勇をふるつて各選士武技を鬪はす
畑生、高野兩氏惜しくも敗る
昨日晴れの御前試合

【東京五日發電】からりと晴れた皐月空に新のぼりいさましく吹流した端午節の今日畏くも天皇陛下御前にて全國武道界の精鋭百六十六名中から昨四日の豫選大會で更にすぐられた榮譽の戰士廿四名はいよいよ渾身の勇をふるつて晴れの武技をたゝかはす眞に全國民の血を湧かし肉をおどらす昭和聖代の一大盛事といはねばならぬ

各選手は 晴れの競技を前に四日夜來齋戒沐浴して午前十時頃續々入場し腕ならしの練習に時刻の至るを待つ、武道御熱心の各皇族殿下を首め田中首相、望月、小川の兩大臣、倉富樞府議長樞府顧問官、陸海軍將星、參觀を差し許された各方面の名士らは正午ごろ堂を埋めつくして總數二千と算せられた、天皇陛下は此の日陸軍通常禮服に大勳位略綬を佩せられ午後一時式場玉座に臨幸あらせられた。諸員は一齊に起立して最敬禮の内にむかへ奉れば直に劍道試合は開始された、驅幹堂々古武士の面目やくじよたる高野佐三郎、中山伯道兩劍士演武臺場に參進し

陛下御前 に最敬禮申上ると共に左右にわかれて高野範士は打太刀の構へ、中山範士は受け太刀の構へにて足摺りも力強く丁々發矢と寸分のすきもなき大日本帝國劍道の型を御覽にいれ、引續き府縣指定兩選士の准々決勝を行ひ柔劍術試合があつてから決勝戰に移り府縣選士優勝者は福島縣の福島高等商業學生三段横山永十（二）指定選士優勝者は京城の朝鮮總督府警務局範士持田盛二の兩氏ときまつて大緊張裡に劍道試合を終了、陛下は午後二時三十三分一旦宮城に還御あらせられた、陛下は午後三時三十四分再び臨御あらせられるや

柔道試合 に移り、先づ嘉納治五郎、山下兩氏演武臺場に進み嘉納師範とり手となり山下八段受け手となり柔道古式の型を天覽にいれたる上いよいよ左記の如く龍攘虎搏の接戰を演じた、斯くて陛下は御機嫌いとうるはしく還御あらせられた、皇族各宮殿下は其の儘御のこりあり一木宮相より御下賜の名刀四口ならびに銀製三つ組宮内大臣杯を柔劍道指定府縣兩選士優勝者四名に傳達授與終り、各參加選士百六十六名には記念銀杯各一個を授與して昭和の歷史的御前試合は燦たる響をあげて終了した、成績左の如し

劍道

府縣准々決勝
一、勝本田勤四郎（千葉）河合 曉晴（水戶）
二、勝畑生 武雄（關東州）菅原 繁雄（愛知）
三、勝北見 養造（樺太）南 潔（兵庫）
三、勝横山 永十（福島）森田 可夫（愛媛）

同准決勝
一、勝畑生 武雄（關東州）本田勤四郎（千葉）
二、勝横山 永十（福島）北見 養造（樺太）

同決勝
勝 横山永十（福島）畑生武雄（關東州）

指定選士准々決勝
一、勝大麻 勇次（佐賀）小川金之助（京都）
二、勝高野 茂義（關東州）堀田捨次郎（東京）
三、勝持田 盛二（京城）古賀 恒吉（金澤）
四、勝緖田平太郎（高松）堀 正平（吳）

同准決勝
一、勝高野 茂義（大連）大麻 勇次（佐賀）
二、勝持田 盛二（京城）緖田平太郎（高松）

同決勝
勝 持田盛二（京城）高野茂義（大連）

柔道

府縣選士准決勝
一、勝木原 久夫（福岡）山川 渉（大阪）
二、勝島崎 朝輝（滋賀）吉田 四一（兵庫）

同決勝
勝 木原久夫（福岡）島崎 朝輝（滋賀）

同指定准決勝
一、勝栗原 民雄（京都）阿部 英兒（東京）
二、勝牛島 辰熊（熊本）佐藤金之助（東京）

同決勝
勝 栗原民雄（京都）牛島 辰熊（熊本）

銃劍術
江口少佐河野少佐を破る、

【東京五日發電】劍道御前試合にただ一組光榮の參加を許されたる柔劍術は、近衞步兵第一聯隊步兵少佐江口卯吉氏對戶山學校教官步兵少佐河野毅氏で、近衞步兵三聯隊大木健太郎氏審判の下に行はれたが江口少佐の勝ちとなつた

凄じかつた劍道の決勝
武運拙き高野と畑生

【東京特電五日發】劍道府縣選士決勝—畑生對横山—畑生は六尺有餘の大兵三十一歲で、之が相手は福島高等商業學校の白面の學生横山、年は廿三歲、畑生は生命を賭して鬪ふと豪語してをり、流石に觀覽席は寂として聲なく午後二時廿五分緊張し切つた雰圍氣の中に兩雄は太刀を取りあげた、横山切先鋭く危ふしとも見えたがなか〳〵まず面と迫るを畑生打ち流して胴と逆襲す、横山早技にて敵の劍を外しつゝ突き進み畑生の出小手を切つて落し、續けて廻し小手を取つて遂に劍豪畑生を葬り終る▲指定選士決勝持田對高野—持田は技圓熟の境にある朝鮮總督府の教師で四十五歲、高野は名人高野佐三郎に見出された達人、持田捨身に飛び込み胴と斬つて先づ一本をとる、高野は太刀を縱横無盡にふるひ、千變萬化虛々實々とは此のことかと思はせたが、やゝあつて高野上段に構へ動かず、持田氣合つて進まず、息詰るが如き數刻、持田高野の振かぶつた左小手を斬れば見事に決まつて高野惜くも破る

中央アジア地方に大地震

【モスクワ特電四日發】二日夜中央アジア地方に大地震ありペルシヤでは死傷者多數、損害莫大であるトルキスタンでも數個の村落は此地震のため全滅しペルシヤ國境に近き地方が最も激震であつた

伜の妻に懸想
福島の警察署長

【仙臺四日發電】福島縣中村警察署長折笠勇（六〇）の長男一の妻キン（二〇）は長女花子（六）長男茂（三）と共に三日常磐線下り列車に飛び込み自殺を遂げた、キンは昨年夫一の死後一の實家に歸つてゐた處勇も一年前妻を失つて居りキンに懸想して結婚せんとしたためキンは之れを恥ぢたものである

婦人達の百米競走＝昨日の滿鐵大運動會

スポーツ
早大政法に勝つ
昨日のリーグ戰

【東京特電五日發】帝法野球第一回戰は五日午後二時三十分から神宮球場で擧行された球審淺沼・壘審横澤法政先攻・帝大古館・小林法政若林・松井のバッテリーで戰ひ左のごとく十三對三で法政の勝となつた

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
法	2	0	0	0	0	7	2	1	1	13
帝	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3

續いて早立野球一回戰を行ふ・審判新田・天知で立教先攻に開始十一對一で早大大勝した・バッテリー立教辻・山本・小笠原・正田・早大松木・小川・伊丹

今年の優勝
一般競技では白組
選手競技で樺組
一萬米で滿洲新記錄
遂に天候に惠まれず寂しく終つたきのふの滿鐵運動會

五日擧行した第十九回滿鐵運動會は午後に入つてやゝ見物人の數を増してきたが、降雨は完全に歇んだけれども

端午の 節句とは到底思はれぬほどの寒さと、砂塵を混じへて吹きつける烈風に辟易してバックスタンドの觀衆は應援團を除くほか殆ど全部引揚て、影をとどめない寂しさだ、應援團席も得點數の景氣のいゝ黃、樺、白、綠を除いてはこれも寂寥々たるものだ、場內を一周して出發星ケ浦を往復して場內に歸着更に一周して決勝點に入る一萬米突競走は選手競技者一般競技者ともに

混合で あつたが、選手競技の靑組の山下寛一君が一般の遞信局の中本忠利君と同着に入場し約五米突の差でゴールインし三十三分十八秒五一で滿洲新記錄を出し中本君も三十三分二十秒で同じく新記錄を出したのは當日の白眉であつた、午前中選手競技に優勢だつた綠の鐵道部は棒高跳、槍投、圓盤投等のフキルドで全く氣勢昂らず樺に先頭を讓り、更に白の大連驛にもリードされ最後の千六百米リレーで取返すつもりが、形勢一變して白、綠、樺の順位となつたためつひに

頹勢を 挽回し得ず二年優勝の覇權を樺に讓るに至つたのは蓋し本年は已むを得ぬ歸趨であつた、右終るや會長代理神鞭理事より一般競技の優勝者黃組（社長室庶務部）の代表者永谷選手に對して優勝旗を、選手競技の優勝者樺組（埠頭）の代表者小數賀選手に對して優勝盃をそれ〴〵授與し閉會の辭を述べたのち運動會の萬歲を三唱し全く閉會したのは午後六時であつた、各種競技の得點數並に選手競技その他の成績は左の如くである

一般競技得點數
一等 黃（社長室）一〇一點
二等 白（驛）四〇點
三等 綠（鐵道部）一四點
四等 樺（埠頭）一二點
五等 赤（地方部）七點
六等 靑（經理部）二點

選手競技得點數
一等 樺（埠頭）八〇點
二等 白（驛）七六點
三等 綠（鐵道部）七四、五點
四等 靑（經理部）六一點
五等 赤（地方部）四八點
六等 紫（興業部）二七、五點

かくて黃組と樺組とが夫々優勝となつた

選手競技午後の分
▲一萬米 選手一着（靑）山下寛一（三三分一八秒五一滿洲新記錄）二着（樺）八重樫榮次郎三着（白）[illegible]四着（赤）花田一[illegible]五着（綠）萩原思無耶
▲四百米 一着（綠）濱田常盛（五三秒五二）二着（白）沛野勇三着（樺）三隅一二三
▲棒高跳 一等（樺）石垣松吉二等（白）石橋末男三等（靑）稻益仁三等（綠）太田猛夫
▲ハイハードル 一着（白）立中善助（一八秒）二着（樺）井上純良三着（赤）木下信一
▲槍投 一等（靑）峯尾滿久二等（紫）吉丸美德三等（白）岡田誠癸
▲圓盤投 一等（樺）横井金次（三一米七八）二等（白）田中義廣三等（綠）齋藤孝四郎
▲千六百米リレー 一着白組（浦野、松重（芳）立中、中村）三分四二秒五四、二着綠（仲田、濱田、石村、尾田）三着樺四着靑五着赤

一般競技午後の分
▲一萬米 一着中本忠利（遞信局）三十三分二〇秒（滿洲新記錄）
▲登山競走 一着山根竹信二着岡田正三着宇野一、四着中村丹治五着栗山徹雄
▲各課對抗八百米リレー A組一着大連列車區（藤崎、高橋、萩原、北崎）一分四八秒五四 B組一着消費組合本部（綠川、二神、青山、宗正）一分四五秒
▲中等學校八百米リレー 一着大連商業（堀部、鈴木、井上、工藤）一分四三秒五四二着大連二中▲三着大連一中
▲傍系會社八百米リレー 一着國際運輸（石川、新城、野口、井上）一分四五秒二着南滿電氣
▲專門學校八百米リレー 一着滿洲醫大（今井、立川、吉岡、比企）一分四二秒五三
▲沿線各支部八百米リレー 一着沙河口（松崎、中村、大久保、益田）一分四三秒五二

奉天紅梅町に十人組馬賊
金品二千餘圓强奪逃走

【奉天特電五日發】五日午前二時ころ紅梅町一二八支那人錢昌恩方へ十名の馬賊押入り拳銃と棍棒にて家人を脅迫衣類金品千八百六十八圓餘と現金四百圓を強奪して逃走した、急報により奉天署から直に急行したが犯人は行方不明目下嚴重搜査中である

各地代表の弔魂團
二十四日來滿

【奉天特電五日發】全國各地代表者一行の全滿各地弔魂團は一戶大將と共に愈來る二十三日午後二時安奉線急行にて來奉翌二十四日午後十時十分發にて北行の筈であると

金剛呪門 また札止
ます〳〵好評

四日夜から市內高等演藝館に上映した本紙連載小說「金剛呪門」の第二日目は前夜に劣らぬ好人氣で開場間もなき七時前既に大入滿員のため札止めとなる盛況を呈した

毒藥自殺未遂

【哈爾賓特電五日發】本日午前十一時新城大街一號岩本喜助方にて保險勸誘員中村傳四郎（三七）なる者毒藥自殺を圖り其儘行方不明となつた原因は歡樂に使ひ込んでの狂言らしい

共同御用聞き
沙河口市場で

沙河口市場では需要者の便宜を圖るため四月末から一人で各市場店舖の注文を聞く共同御用聞き制度を實行してゐるが、これは家庭に居乍ら日用品全部が整ふといふので一般から大變喜ばれてゐる

デビスカップ戰
デンマーク二勝

【コペンハーゲン特電四日發】デビスカップ庭球戰歐洲ゾーンのデンマーク對ハンガリー第一日のシングル戰は四日當地に擧行された結果デンマークが二勝した

けふのラヂオ

昭和四年五月六日（月曜日）
自午前十一時 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース
自午後零時三十分 相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース
自午後三時三十分 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース
自午後七時三十分
一、ニュース
二、露語講座 第七講 大連語學校グロースマン
三、筑前琵琶 本能寺 山崎旭黎
四、長唄 五月雨（三絃會三田尻樓）唄 蔦次、同五郎、同吉彌、三味線 杵屋佐太郎、同欽丸、同[illegible]
五、支那唱 坐宮盜令 唱 馬金子 晉千代
六、料理獻立 師村千鎖泉
七、天氣豫防
八、ラヂオ體操

高雄教授講演

目下來連西本願寺別院滯在中の京都龍谷大學教授高雄義堅師は「信と其の表現」と題して今六日午後七時より播磨町大連幼稚園に於て講演する、多數靑年男女諸君の御參聽を歡迎すると

本社懸賞當選小說

人生の曲藝（121）

瀨野皓太作　淺枝次朗畫

雪の朝（二）

「青江節子」なる百合子は、荒井博士の門を出ると、心は勇躍にも似えた。

「さあ、博士はこの數日間は妾の不在を怪しむ事はない。そして朱文路は、相變らず妾が研究所に行つてゐるものと思つてゐるに違ひない。殊に、あれは、此頃は研究所の一室に寝泊りしてゐると言つておいてあるのだ。そして、東京劇場はこの一月は、まるで妾の身體はあいてゐるのだ。これで、妾が突然に姿を消さうとも怪しむものはないのだ。さあ、萬事好都合に行つた樣だわ」

彼女は心の中で、さう考へた。

朝からの雪は仲々に止みさうもなかつた。

荒井理化學研究所から一町ばかり隔たつた所に、彼女の自動車が待たされてあつた。

「新橋へ」

自動車は、すべる樣に、雪の上を走つた。

時計は八時に少しばかり前だつた。

「運轉手さん、どうでせうか八時半に間に合ひますかしら」

「はあ、大丈夫です。着いて、まだ充分お待ちになれる位ですよ」

自動車は、それでも、雪の爲には幾度か、からまはりを續けて、仲々思ふ樣には進まなかつた。

「ほんとに大丈夫でせうか」

「大丈夫です。大分積つてますから、少しはおそい樣ですが、間に合はない事はありませんよ」

「さうでせうか」

彼女は、しかし、まだ不安であつた。

「若しも、此汽車におくれたら」

そんなことゝ思つた。

内村信策は乾度、失望するに違ひない。失望どころではない。彼女の違約を思ふに違ひない。いや、むしろ彼は彼女を嘲笑するかもしれない。

そんな事を思ふと、車の歩みがいつもほどに輕快でないのが、氣がかりでならなかつた。

「間に合つて、くれゝば好い。今まに合はなければ、恐らく二度とあの人の胸にすがりつく事は出來ないかも知れない。ほんとに間に合つて呉れゝば好い」

彼女は、さう心の中で念じた。

「運轉手さん、今は八時二十分です。こゝから新橋まで十分間に行きつきますかしら」

彼女は外を眺めたけれ共、雪の爲に、まるで見當がつかなかつたのであつた。彼は返事の代りにスピードを出し始めた。が、車は相變らず、からまはりが多くて彼女は時々のめる樣に、車と共に動搖した。

「八分間です、あと」

彼女は注意する樣に、時間を知らせた。

運轉手は、一生懸命に、ハンドルに嚙ぢりついてゐた。

「もう、五分しかありませんわ。あそこは五分停車ですから、今ごろは着いてゐるんですわ」

「この雪ぢや、汽車もおくれますよ」

「汽車がおくれることよりも、此の車が間に合ひまして？」

「間に合ふつもりで御座います」

しかし、自動車が驛に着いた時は、驛の時計でさへも、ぴつたりと、八時三十分を示してゐたのであつた。

彼女は飛ぶが如く、驅け込んだ。切符は、どうやら手に入つたけれ共、改札口はぴつたり締められて了つてゐた。

「今、發車しました。お氣の毒さまです」

驛員は、實際氣の毒さうに彼女に言つた。

彼女の張りつめた心は、一時にゆるんだ。彼女は、全く眼の前がまつくらになるかとも思ふばかりであつた。

そして、トランクを下に下すと、ぐつたりと崩れる樣に、その上に腰を下した。

新橋の驛を離れて、東京の街々の屋根をみながら、彼女を嘲笑してゐる内村信策の顏を戀ひ出すとほんとにたまらなかつた。

「これで、おしまいだわ。妾は、とても自分の運命に反抗する事は出來ないんだわ」

彼女は、さう思ふと、その蒼白く變つた頰の上に、冷たい淚を流した。

「葉山さん。こんな所であなたは何をしてるんです」

と言ふ者がゐる。

彼女は吃驚した樣に、その顏を擧げた。

滿日文藝　滿日柳壇

「上と下」

上と下連れて驛夫の墓參り　旅順　樞一

上と下電光の如く目は動き　鐵嶺　しづとし

蛆虫のやうに飛行機から眺め　遼陽　一步

上と下區分して見る大男　旅順　要砲

席順の上下鏡で定められ　撫順　鼓浪子

段梯子上と下から目で合圖　沙河口　素寢坊

太鼓持ち上と下とは別な洒落　沙河口　溪聲

上下の膳は揃ふて枕は打て　沙河口　水母

炭酸紙中に挾んでよくうつり　撫順　卓坊

口笛に二階の娘落ちつけず

支那木挽息を引上げ引下し

急用の窓から話す上と下　昌圖　福助

上役は部下を見下す席を占め　大連　紅竹

上からは睨まれ下からは睨まれ

三光

上下の文句で手紙やつと讀め　大連市濱町十五丁目北二六　櫻井無六

汚れてもいゝのを行李の上と下　撫順山城町四ノ三ノ四　田中故浪子

地下線に乘つて上野の鮮が賑め　奉天末廣町製麻會社内　福田飄六

選者吟

エレベーター上と下とへ待たせて居

上下へ入れて小包締められる

滿洲日報地方版

哈爾賓

五三記念遊行に我官憲が抗議

支那側陳謝し納まる

當地の五三記念日は哈爾賓學生聯合會が主催し特別市々黨部の支持を受けて大遊行が行はれた、參加學生は工科大學、法科大學、商船學校、女學校などの學生約二千名で一中、二中、三中、許公中學、午前九時八區の野に一同集合し同十時出發各自に「否認二十一條」「打倒日本帝國主義」「消滅中國共產黨」「中國々民黨萬歲」「三民主義萬歲」などの標語を書いた**白旗**を振り翳し長蛇の列を作つて傅家甸の各大通りを練り歩いた上更に新市街並に埠頭區の主なる通りを遊行した、尚學生聯合會ではこの示威運動の外に五組の演說隊を組織し市内各要所において濟南事件當時における狀況の講演を催し氣勢を揚てゐたがこの前行はれた路權回收示威運動における熱狂振りと異り一般に靜かであつた尚傅家甸にある基督青年會では午後七時から五三**追悼**演說會を開催した此日我總領事館では濟南問題が解決された今日、五三記念遊行の如き排日的行動は當然支那側において嚴重取締るべきものであるといふ條約尊重の見地から紳士的態度を持し前日より右計畫の風聞があつたに拘らず事前に抗議若くは警告を發するなどのことなく差し控へてゐたが當日に至り支那側では非法にも支那學生聯合會が示威運動を實行せんとしつゝあるを**默過**してゐるので八木總領事は斯くては日支の友交關係上頗る面白からぬ結果を招來するものとなし直に藏本書記生を支那交涉署に派し右集合の即時解散を要求せしめたる處支那側では學生の示威運動は學生等が極祕裡に運んだもので當方でも今初めて知つたやうな次第であるから既に市中へ出發したものは出來るだけ歸還を命し未だ參加出動しないものに對しては早速これを禁止するとて**陳謝**の意を表したので藏本書記生は引揚たしかして右抗議の結果示威行列は比較的靜肅に行はれ早く切上られた觀があつた

馬賊跳梁

討伐隊急行す

最近寧安縣下に頭目當天の率ゆる約二百名からなる馬賊團が出沒附近各所を盛に荒し廻り近縣城寧安を襲ふべしとの情報があつたので吉林東北邊防副司令部ではこれが討伐のため二營の兵を同地に急派した

航業公會と運送業者確執

益々紛糾を加ふ

航業公會と運送業者との確執はその後益々紛糾し今日にありては最早當地にては平和的解決を望み難き情勢にまで立ち至つてゐるが當地商務會からの通電によつて事態の急なるを知つた奉天當局においても容易ならぬ問題とみなし一日航業公會々長王理堂氏に對し招電を發しこれが眞相並に解決策につき事情を聽受するとになつたので王氏は二日急遽南下奉天に向つた

彈壓されたメーデー

氣勢あがらず

當地における五月一日の露國側勞働祭は支那官憲の取締が嚴重なため指定された數ケ所で屋内の祝賀會が催されたのみで一向氣勢が揚からなかつたが東支鐵道、哈[illegible]、勞農領事館並に各倶樂部、組立工場などでは終夜五色のイルミネーションを點じ漸く鬱憤を晴らしてゐた、尚ハバロフスクのラジオ放送局からは盛んに宣傳的講演を放送してゐるのが當地においても感受された

寺院境内借家問題解決

借家問題の喧しい折柄地段街ソフヒスキー寺院境内の村井病院、河合病院、藤井洋行、東洋ホテル及び中村文四郎宅の五軒は昨年で既に十年の契約期限が切れ而も右建物全部が現在居住者の所有なるに拘らず初めの約束で期限到達とゝもに無償で右寺院へ引渡されねばならぬことゝなつてゐて兩者の間に紛擾を醸してゐたが期限延期について折衝中の處今回八木總領事の斡旋によつて家賃二ケ年分を前納する條件で更に今後十五ケ年間契約を延ばすことゝなつて三日兩者間に調印を終つた

人事一束

▲基督復活祭のため當地各國銀行、會社及び商店は四、五、六日の三日間休業する。

▲永らく奉天に滯在中であつた行政長官張景惠氏及び哈爾賓交涉員蔡運升氏は三日午後四時五十五分同車歸哈した。

▲當地總領事館太田日出雄書記生は今回ペトロパウロスク在勤を命ぜられ重松官補の來任を待つて本月中旬頃出發赴任する筈。

▲當地總領事館在勤を命ぜられた重松宮雄官補は十日東京發十五、六日頃來任の豫定。

▲六日から京城本店で開催の鮮銀支店長會議へ列席のため箱崎當地鮮銀支店長は一日晩南下京城へ向つた。

▲露國商業會議所會頭カバルキン氏は歐洲事情視察のため二、三日內に日本へ赴く筈。

開原

開原デーを擧行

各役員の推薦をはる

三日午後二時より地方事務所に於て協議會を開催協議の結果招魂祭並に開原デーは例年通り擧行する事に決し左記役員を推薦した

招魂祭役員

祭典委員長守備隊長奈良正彥、同副委員長軍人分會長三田泰三

開原デー役員

會長川崎亥之吉、副會長佐竹令信、庶務委員長川島定兵衛、審判委員長三田泰三、競技委員長井上芳雄、賞品委員長清水徳次郎、救護委員長松本辰吉、設備委員長安田佳藏、警備委員長前田信二、場内整理委員長上郡山九敎、記錄委員長山田民五郎、接待委員長津田善松

尚本年は優勝旗を新調し對抗競技に一層の花を添へ運動の精神を發揮する事となつた

旅順閉塞記念日

水いらずの集り

懷舊談に花を咲かす

旅順乃木町河合入郎氏方に滯在中の久保田金平老は旅順閉塞記念祭に列席し一場の講演を成した後、午後六時から氏が旅順驛長時代に建てた懷しい想ひ出の多い室内で一夕の懇親宴を開催し水入らずの懷舊談に花を咲かした。

◇—◇

日露戰爭に參加したと云ふ細川少佐、宮竹、矢幡の市會議員、軍神廣瀨中佐の旅順閉塞隊に參加した往年の勇士松崎氏も加はつて日露戰役當時の戰況と旅順即ち乃木將軍の神格的遺跡を追想し盡忠報國の赤誠、二萬四千餘名の先驅が血河屍山を築いた旅順攻擊の勳功、白玉山に燦として光る英靈の物語に興の盡きるを知らぬ感慨無量の談話が次から次へと交された。

◇—◇

故乃木將軍の崇拜家として知られた久保田金平老は立つて將軍二兒の出征から名譽の戰死、乃木將軍が金州南山で陣沒した愛兒の墓前に立ち「征馬進まず人語らず」の句を誦した心中を老は淚を流して物語つたが當時乃木將軍の通譯として働いたのは石本鏆太郎氏であつたといふ、細川少佐は久保田老が旅順驛長時代邦家のため戰死した勇士を弔ひ、鬼哭啾々の古戰場に白骨となれる其等の勇士の遺骨を全部掘出して戰跡保存會の今日を培つた顚末を紹介し久保田老は「イヤ實に悲慘でした、陣沒勇士の骨が雨曝しに逢つて捨てられてあつたので、時の總督に面會し埋葬しやうと計つたが經費の關係で容易に聽かれない、それで私は頸にズダ袋を下げて日本を行脚しこの報國の勇士が今尚白骨のまゝ捨てられてあることを遊說したならばと思つたが、それも出來なかつた、しかし恰度其時今の首相田中大將が陸軍大官として來旅したので戰跡を案内した際「アナタはあれが見えますか？」と問ふた處「フム白骨か」と答へ——「解つた」と漏らした、それでやつと白玉山の納骨祠が竣工した譯である、其れは明治四十一年十一月廿八日であつた

次いで久保田老は故乃木將軍を崇拜し將軍の知遇を受けたかとの點に就いて今まで發表されない秘められたる事實の物語があつた、其れは久保田老が驛長時代明治四十一年白玉山除幕式の擧行された時、故乃木將軍、東鄕元帥、黑木、大山總司令官その他七將軍が來旅し除幕式に參列し乃木將軍を驛長舍宅に案内し一夜の宿所として供したが、久保田老夫妻は其の時廊下で一睡し將軍の夢のやすらかに結ばれるやう赤心を以て警衞したので、チラリこれを目擊した部下に情味ある將軍を感動せしめ其れより將軍の厚遇となつたのであると

◇—◇

其後乃木將軍が明治大帝の御後したひ自刄する前日「旅順に久保田金平と云ふ驛長ありよろしく賴む」と遺言するに至つた眞情、これが動機となつて久保田老は旅順を去る時現在の家屋と故乃木將軍の直筆の書、東鄕元帥、大山元帥、伊藤博文公其他日露役參加の各大將の書を全部家屋諸共白玉山に寄附したのであつた、これは神格乃木將軍の逸事として記念されるべきものであらう

◇—◇

旅順港閉塞記念祭の夕は斯くの如く意義ある物語で終始した、久保田金平老と旅順は離ることのできぬきづながある、この家屋は白玉山麓に永へに傳へられるであらう

滿蒙鐵道驛傳競爭

走距離　十五鐵道　三千四百二十四哩

期日　五月十九日大連驛出發

方法　紅白二班に分ち各班五名宛の本社員のリレーレースとなす、大連驛を出發及び歸着點として豫定鐵道線路を必ず一回は通過するを必要とす、但し連絡の際における乘物に制限を附せず、各班は電報又は郵信を以て動靜および觀察記を本社に送ること

審查　全行程を最も短時間に且つ完全に走破すること、通信記事の優秀なること及び所要經費の少額なることを必要條件となし勝敗を決す

所要時間豫想募集　兩班の中、全行程を完全に突破して先着せる班の所要日時を普ねく讀者より募集す（募集開始五月十日、締切五月廿五日）

詳細の規定　二日朝刊に發表せり

長春

結局商議立直し

笠井派尚ほ頑張り　領事の調停に不應

商議紛擾解決に關して永井領事は關東廳の方針に基き積極的に乘り出すことゝなり笠井會頭を招致して自決を促したが笠井氏は事此に至つては最早止むを得ずとて辭任の意を表したが自分一個にては決し兼ねると即答を避けた然るに笠井派の中心人物たる赤木、赤羽兩議員は飽くまで戰ふとて會頭辭任に反對し三日領事館に出頭して永井領事の勸告に應ぜざる意志を表明した永井領事が今後更に如何なる處置を取るかは注目の焦點となつてゐるが恐らく二、三日成行きを見た上飽くまで笠井會頭が自發的に辭任せざる場合には最後の手段として會頭並に全議員の認可を取り消し長春商工會議所を一旦廢止し更めて改組せしめ後日紛糾を再び繰返さざるやう定款の改正をも命じて直すことゝならう

狂犬豫防注射

長春警察署では七日から十六日まで左の日割で管內の狂犬豫防注射を實施する筈

五月七日（消防隊にて）中央通り以西一圓

八日（同上）東一通り以西中央通り以東

九日（同上）東二條通り以西東一條通り以東

十日（同上）東三條通り以西東二條通り以東

十一日（同上）東四條通り以西東三條通り以東

十三日（細菌檢查所にて）東五條通り以西東四條通り以東

十四日（同上）東五條通り以東

十五日（同）鐵北一圓

右日割以後の分は有料とするとの注射の犬には犬牌を交附する

劍道內地遠征

滿鐵劍道部の內地遠征は八日大連出帆の豫定であるが長春からは多分事務所の吉谷三段が加はる筈で同氏は六日長春發赴連する、因に一行は十二日京都武德殿、十六日は名古屋、廿日は東京で夫々試合を爲し廿一日東京發歸滿すると

安東

會議所陳列室

市內出品勸誘

安東商工會議所の商品陳列は舊に陳列館を廢止して陳列室とし、各地からの出品を返還して專ら安東土產品を陳列することになつてゐるが現在の所では日魯、富士紡、鴨綠江製紙の三出品があるのみで未だ土產品を網羅してゐると云ひ難く各地からの觀覽者に安東商品を知らしめるに充分でないから今回市內土產品商の出品陳列を勸誘することゝなつた

奉天

人妻を隱匿

搜查費を强要

本籍直隸省保定府現住所不定無職張振鈇（二一）は廿日前から千代田通滿鐵旅館に投宿してゐたがその中同宿の新民縣王商山（三一）と知り合となり去る廿九日王が商用にて城內に赴き不在中王の妻王月樓（二一）及び同人の妾王小紅（二一）の美貌なるを奇貨として甘言を以て兩名を欺き天津方面に向はしめ何知らぬ振をしてゐる處へ王が歸つて來て兩名ともゐないので大搜查せるも一向見當もつかぬため迷つてゐると張が兩人は天津方面に行つた模樣であるから三百圓異れるなら搜查してやると脅迫的に强要するのでその筋に屆け出でたため同人の犯行が判明し嚴重取調中である

對抗柔道試合

醫大對奉天道場

滿洲醫大對奉天道場の對抗柔道試合は來る五月九日午後四時から滿鐵道場に於て擧行されることゝなつたが兩者とも新進揃ひ選手十名の猛者連で當日の盛會が期待されてゐる

町の便り

支那側の計畫である北陵行遊覽列車は愈五日の日曜から開始されたが該列車は瀋陽驛から奉天驛に來り皇姑屯驛を經て東北大學附近まで向ふ

◇

奉天武道獎勵會では五日午後一時より八幡町八番地の幼稚園で地方部道場開きを行つた

◇

一燈園西田天香氏の講演會は今六日午後七時半から一般のため滿鐵社員倶樂部に於て開催、更に婦人のため七日午後一時から同會場に於て開催される

鞍山

質屋の强盜

日本語に巧み

既報した鞍山北二條町質屋栗林健次郎（六一）方に侵入した强盜は日本語を解せる二名の支那人にて一名は金槌一名は手斧を持つて就寢中の爺さんの頭部を金槌にて一擊を加へ即死せるものと思ひ老母に案內させ金庫より時計其の他現金を强奪し手斧にて老母に一擊を加へ何れにか逃走したものである、鞍山署では全署員晝夜の別なく嚴重犯人搜查中である

廣島縣人會

廣島縣人會では十九日午前九時三十分より湯崗子に於て家族會を開催すると希望者は左に申込れたしと

奉日野村數幸、白川組三輪原七、自踊寮住吉長平

鐵嶺

保線區の新工事

開原驛の新築、淸河の鐵橋等　十一月までは大多忙

鐵嶺保線區は綾谷區長以下各員何れも活動期に入つたので非常に多忙を極めてゐるが今年は年來の懸案大工事たる開原驛の新築がある爲め其方に全力を集中し複線工事其他昨年のやうな大工事や難行事は無いやうである、併し明年度の複線工事準備としても淸河の鐵橋新設工事がある、之れは工費三十四萬圓を要し百尺の徑桁二十連を架設するもので既に着手し十一月末日までに完成の豫定である、同じく複線準備として開原河金溝子河に各一連を架設すると尚此外開原驛構內のスタンド、パイプ設備工事の九千圓、開原驛及び新臺子驛の貨物野積場舗路並に排水設備工事三萬圓等があり今秋までは寧日なき多忙である

鮮人青年會

産聲を擧ぐ

鐵嶺在住の鮮人青年間には豫てより青年會設立の計畫が進められてゐたが今回愈其機を得義に開催したる創立協議會に於て設立運動に着手し四日午後七時より鮮人民會事務所に於て創立總會を開催愈に產聲を擧げる事となつた、同會は在鐵十八歲以上四十歲以下の思想健實なる青年を以て會員とし會の目的としては五大綱領を揭げて會員相互の親睦向上を圖るといふ同會綱領左の如し

社會奉仕、吾等の進路開拓、團結と修養、社會常識の普及、相互の親睦

春季慰安車

鐵嶺管內に於ける春季慰安車の停車日は來る十八日亂石山、十九日平頂堡と決定の旨通知あり今回は得勝臺は除外されたやうである

新台子民會評議員改選

新臺子民會では評議員の任期滿了につき改選投票を行つた結果左記日支人十名宛が當選した、而して近く評議員會を開催正副會長の互選を行ふと

菅原正治郎、末本安平、稻田長四郎、根上藤五郎、中野嘉一、鈴木榮吉、井上定次郎、上村政治郎、小篠眞代藏、前田乘次郎、劉來川、鄧瑞霖、楊尊三、王錫三、李爾田、吳慕臣、張文選、孟輔堂、畢純修、于幹臣

狂犬豫防注射

鐵嶺警察署では狂犬病豫防のため來る廿一日より左記日割に於て管內の畜犬に對し豫防注射を行ふ筈であるが注射は全部無料につき飼主は進んで注射を受けしめるやう勵行されたしと

▲五月二十一日本署構內にて▲二十二日驛前派出所▲二十三日公會堂にて▲二十四日新臺子民會▲二十五日亂石山派出所▲二十六日得勝臺平頂堡

尚注射施行時間は毎日午前十時より午後三時までにつき最寄の場所に愛犬を連行されたしと

小日山理事

滿鐵社長代理として沿線社員慰問の途にあつた小日山理事は五日撫順を最後として慰問來鐵の筈であつたが急に豫定を變更し鐵嶺には來らず五日午後零時二十七分通過の急行列車で大連に直行赴任した

撫順

全撫順祭典

五日盛大に擧行

從來佛敎團等一部の祭典であつた撫順に於ける招魂祭は本年よりオール撫順の定期祭典となり五日午前九時より東公園表忠塔前にて第一回目の神式に依る祭典が嚴肅に行はれた

定刻前各小中女學校生徒二千人、炭礦市內の在住民、青年團、在鄕軍人等一千計三千人の大衆參列佐々木社司の手に依つて式は擧げられ祝詞につぎ在住民總代祭典委員長中野庶務課長おもむろに進み二十有五年前、日露の役に際し祖國の爲屍を異鄕の地に曝せし戰士の靈を讃んで意味の祭文を朗讀、次で各團體代表交々立て玉串を捧げ十時三十分莊嚴裡に式を閉ぢた

それより久し振の惠まれたる快天氣のなかに撫順相撲協會奉納に係る花相撲、銃劍術等が盛大に[illegible]され祖國の爲斃れたつはもの〻靈を慰むる處あつた

從業員實習所

卒業式を擧行

撫順炭礦では從業員敎育のため三ケ月間坑內係員の實習所を設けてゐるがその科目は採炭一般、電氣、支那語その他で第三回卒業式が四日正午より中央事務所三階にて行はれた、今回卒業生は十二名であつた

開帳中踏込る

三日午後十一時五十分撫順千金大街四五油工商谷昭明（四二）方にて同人始め歡樂園義合成胡寶槃（三七）千金大街四五王維全（三七）西一條通天泰成、孫樹祥（四五）千金大街遠從好（三〇）五名が車座になつて賭博開帳中木原巡査外三名に踏込まれ一網打盡

コソ泥棒

四日午後二時市內西六條通十五番地田中ツル方にコソ泥侵入羽二重帶時價二十圓、紹縮緬夏物羽織黑時價三十圓、明石地單衣時價二十圓、銘仙單衣一枚十圓その他合して百圓のものを竊取逃走犯人不明

大連將棋聯盟特選

滿日五人拔戰

（稲村君二回勝三回目）

（三ノ五）平手先番　▲二段　稲村義一　△二段　泉宮晉吉

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香			金				桂	香	一
	王	銀	角				飛		二
	歩	桂	歩	歩				歩	三
歩		歩				歩			四
					銀				五
歩		歩	歩	歩		歩			六
	歩	銀	金						七
	玉	金					飛		八
香	桂	馬					桂	香	九

▲稲村持駒　歩歩　△泉宮持駒　歩

（盤面以下の手順）

▲三五銀△二四歩打▲四四歩打△四二歩打▲二四銀△同銀▲同馬△同飛▲同飛△三三桂▲二一飛なる△四五桂▲五五歩△四四角▲四六歩打△六五歩

對局者の實感

（泉宮君曰く）

敵の四四歩打には困つた。どうもこの歩には他に好い防ぎ手もないから欲むを得ず一歩の歩防ぎに使つたのはつらかつた。

（稲村君曰く）

五五歩と突つかけたのは敵若し同歩ならば五二歩と打つて攻める考へでしたが輕く四四角と交はされたから、些か手ぬるいが桂得になるから四六歩と攻めました。

觀戰雜記　三段　宮本金三

稲村君が三五銀と進み四四歩と輕く攻めたのは感服した。尚泉宮君が三三桂、四五桂と遊駒を働らかせたのは面白い手段で、急に格好な攻め手はなくとも此のやふに自分の遊駒に對して一手の手段を敵に費やすのは好手筋と推賞していゝと思ひます。

若草萠る譚家屯で　けふ滿鐵の運動會

微雨で一旦中止したが再開し　各部の應援團熱狂

滿鐵社員のすべてを擧げてこの日競技に全精神を傾注して各必勝を期する滿鐵第十九回陸上運動會は豫定のごとく五日午後八時から各入場箇所に紅白の幕を張廻らして美しい裝飾を凝らした大連運動場に擧行された、朝から西南の風強く競技開始後九時十分選手百米突競走を開始する頃

微雨を

催し競技の進むにつれて降りの度は烈風と共にますく勢ひを増し競技の續行不能となつたので、一般百米突で終つて役員會を開いた結果各部代表を招集して協議したところ一時中止と決しバツクスタンドに陣どつた各應援團は、續々メーンスタンドの屋根下に引揚げたがこの間に雨が歇んだので再開することゝなり卅七回の二人三脚から開始するに至つた、應援團は白組の大連驛系統、樺組の埠頭、綠組の鐵道部

黄組の

社長室庶務部系統等が最も盛んで選手競技並に一般の採點競技に優勢なのもこれらの各組で各競技が終つて順位が終る毎にまた優劣の順位の決定するごとに各應援團席に起る喇叭、法螺貝、擊柝、鯨聲、笛聲、喚聲は殆と耳を聾するばかりで場内の緊張氣分を彌が上へにも唆つた、而して十一時頃薄れ日ながら太陽の光りが見え初めた頃から

觀衆の

數は著しく増して正午前にはメーンスタンドの大部分を埋める盛況を呈し、正午に開始の豫定の當日の呼物である選手一般參加者を交へた星ケ浦往復の一萬米突競走が約三十分遲れて開始さるるや場内より一齊に拍手起り、右終るや前年度の優勝組綠の鐵道部より優勝杯の返還式があつた

選手競技では鐵道部優勝

一般責任競技では社長室　正午迄の各部得點

正午迄の各部所對抗競技の得點は左の如し

選手競技の部

綠	（鐵道部）	四〇點
樺	（埠頭）	三四點
白	（驛）	二八點
青	（經理部）	二五點
赤	（地方部）	二一點
紫	（興業部）	一二點
黄	（社長室）	〇點

一般責任競技の部

黄	（社長室）	三九點
白	（驛）	九點
綠	（鐵道部）	四點
赤	（地方部）	一點
樺	（埠頭）	一點
青	（經理部）	〇點
紫	（興業部）	〇點

かくて選手競爭では正午迄は埠頭が優勢を示した、尚一般責任競爭では一般の競爭では黄（社長室）優勢である

各部競技成績

各競技の成績は左の如くである

△選手八百米
一着　濱田常盛（綠）二分十三秒
二着　木田　正計（赤）
三着　三隅一二三（樺）

△選手百米
一着　仲田　周一（綠）十一秒五分の三
二着　小數賀源一郎（樺）
三着　中村　繁（白）

△走幅跳
一等　太田　猛夫（綠）五米九三
二等　立中　善助（白）
三等　井上　純良（樺）

△二百米
一着　仲田　周一（綠）二十三秒
二着　小數賀源一郎（樺）
三着　中村　繁（白）

△砲丸投
一等　横井金次（樺）一〇米六三
二等　田中　善廣（白）
三等　齋藤孝四郎（綠）

△千五百米
一着　濱田　常盛（綠）四分二十一秒五分の二
二着　山下　寛一（青）

△走高跳
一等　伊藤　清司（綠）
　　　石垣　松吉（樺）
　　　西　　辰喜（白）
二等　柴田　知機（赤）
三等　蜂尾　滿久（青）
三等　吉丸　美德（紫）

三着　八重樫榮太郎（樺）

御前試合の　劍道部准決勝

畑生氏（關東州）勝つ

【東京四日發電】御前試合の劍道府縣准々決勝の結果は左の如くである

准々決勝戰

一、勝本田勸次郎（千葉）―負河合曉晴（水戸）
二、勝畑生武雄（關東州）―負菅原茂夫（愛知）
三、勝横山永十（福島）―負森出可夫（愛媛）
四、勝北見釜造（北海道）―敗南潔（兵庫）

准決勝戰

一、勝畑生武雄（關東州）―負本田勸次郎（千葉）
二、勝横山永十（福島）―負北見釜造（樺太）

運動會雜觀

▲年一回の滿鐵運動會と云ふので午前八時ごろからぞくく譚家屯運動場へ急ぐ人々、中でも美しく着飾つた婦人達は九時頃から降り出した雨に濡れて折角のおいしろいとおべにが臺なし。

▲バツクスタンドに陣取つた現業團の内、樺の埠頭組は船の汽笛を白の驛組は列車の鐘を鳴らして現業氣分を運動場にも現はしてゐる。

▲新來の南部忠平君赤の徽章をつけて競技委員で納まつてゐる。

▲彌次團のうち白の團長格の小父さん髷をつけ、大小腰にたばさんで輕妙洒脫な指揮ぶりは萬場を微笑させる。

▲雨と風で十時頃は運動會「中止」と迄決定しかゝつたら十時半ごろより雨霽れて再び「開始」となる氣早く歸つた人は又引返すと云ふ恰好。

グ公殿下　觀迎會

七萬の學生團

【東京五日發電】都下學生聯盟では五日明治神宮外苑にてグロスター公殿下歡迎會を催すことになり同日午後四時十五分殿下の御到着を待ち英國々歌の合唱捧呈文獻上する筈で當日の參加學生約七萬の豫定である

莫斯科河氾濫

【モスコウ四日發電】當地方のモヤイスク、スヴイナゴランドの兩市およびその附近の十ケ村はモスコウ河氾濫の爲め洪水におそはれて居る、尚モスコウ河は目下刻々に增水して居る

兩汽船を賣却

【東京四日發電】大藏省發表對獨平和條約に依り獨逸より受領した太洋丸（原名カツプフイニステレ號）吉野丸（原名クライスト）は日本郵船に對し太洋丸百三十萬圓吉野丸六十萬圓にて賣却された

築港計畫で　開けゆく甘井子

市街地建設工事着手され　視察者續々入込む

新興の甘井子は滿鐵の築港計畫に基く棧橋工事の着手と共に從來の一漁村は面目を一新し大市街地建設の前提として既に周水子よりの引込線や同自動車道路開鑿にも着工され現在新築された滿鐵宿舍二十數戶、ソレに買收家屋を合計すれば百餘戶に達し、人口は滿鐵および福昌關係で日本人約百名、支那人約一千名に及び早くも料理店カフエー、飲食店等も出來て賑はつてゐるが、尚滿鐵では本年中に百三十五戶の宿舍を新築すべく工事中である

石炭棧橋も來る九月中には完成すべく而して全部の築港計畫が完備するに於ては現在大連港に出入する船舶の半數は甘井子港に入港するであらうとの豫測の許に將來の發展を見越し、關東廳土木課ではまた今秋十月ごろより沙河口に水道を延長して施設すべく實地の踏査を行つてゐる、一方滿鐵には病院、學校等を建設する計畫あり、大連署の派出所は既に開所されたが尚水上署の派遣所や海務局の支局並に船舶會社關係の代理店や取扱店の出現するのも近き將來であらう

現在料理店や飲食店、雜貨商等にして營業せん目的のもとに視察に赴く者引も切らない有樣で頗る活況を呈してゐるが、海水浴に適當した場所もあり、殊に暗夜に眺むる大連の夜景は宛然繪卷物の如く絕景であると

旅順驛頭賑はふ

戰跡見學の旅行團で　毎朝宛然人と馬車との波

朝の旅順驛頭は全く人の波と馬車で大混雜である、いづれも戰跡見學の旅行團で遊覽客は大體に於て旅大のバスを利用するらしい、四日午前九時半陸軍大學生の一行が二宮憲兵隊長其他軍部側の出迎へを受て荒木中將に引率され到着し馬車に分乘して先づ軍司令部に向つた、其外學生の團體が既に白玉山から戰跡に向ふあり、人力車、馬車、自動車で狹い道路は埋もれた、五月十日までには廿三團體到着する案內狀が來てゐる、今後は日增しに見學團は激增するが、三日までに關東廳學務課へ通知のあつた學校は

▲五日大分縣立日田中學六三名▲六日朝鮮大邱公立學生六八名▲七日宮崎中學生九十四名▲八日大阪府立女子師範一一六名▲十日香川師範學生七五名▲十一日下關商業一一三名▲十四日福岡商業三二、大田公立中學六三名▲十五日都城商業生四一名の入團體であつた

賣肉取締規則

賣肉取締規則改正案は先に關東廳衞生課に於て起案し既に審議に附することになつたから遲くて六月までに施行されるに至るであらう

早や陳列窓を　訪れた初夏氣分

婦人服は二十圓も出せば結構　帽子は外國品が安い

金魚賣の聲が若葉薫る五月の空に道行く人のほつかり汗ばんだほてつた顏が見える浪速町通りの陳列窓には既に眞新しい麥わら帽子が飾られすつかり初夏氣分、

あんな一圓均一の帽子と申しますと運賃を入れては全く儲らない品でございます、當地は

關稅

の關係で外國品が安く買はれますのでパナマ帽子が今年も又一番良く賣れると思ひますが、十圓から三十圓處で御座います

と某洋品店での話、型は別に變りはない樣だ珍らしい處でマニラ麻の帽子がある、値段もサラリマンにも親み易い四圓どころ、洋服屋のショーウインドウも段々明るい輕い色に變つて行く、眞夏になる迄はスコツチ全盛で一般に茶色がゝつた物が好まれる樣だ、暖かくなつて服裝も輕くなつて來ると白いアカシヤの花薫るアスフアルトの上を輕いスカートを蹴つて快活に行く洋裝婦人もふえて來る經濟關係もあらうが一般に夏になると

洋裝

する婦人も多い樣だ一體安い處で幾何位で上るかと聞いてみると帽子下着から靴も入れて二十圓も奮發すれば出て歩いて恥しくないだけの事は出來ると云ふ、婦人帽は段々つばが廣くなつて來るが、日本人は背が低いから

議會今昔物語

高田早苗博士が日本最初の議會に最年少の代議士として打つて出た其當時の想出や、今日の議會の觀察、歐米議會との比較等々現代五月號に發表！國民必讀の記事！

暴動の犧牲者

【ベルリン四日發電】ベルリンノイケンレクにおけるメーデー以來の暴動のための死者數は非公式計算にすると現在迄に廿四名にのぼつて居る、なかにシー、イー、マツケー氏と呼ぶニウジランド新聞記者外一名の現場視察にいつた記者が含まれて居る

孟買の暴動

【孟買四日發電】當地共產黨員暴動の結果死者六、負傷者六十名に達し政府及び資本家は本日對策協議會を開いた

家屋建築の　脫法取締

所管制定變更

大連市には一定の建築規則を施行し新築家屋には當局の許可を必要としてゐるが、最近續々建築されるる家屋中には規則に違反するものあり、法規の不備のためか又は手續檢査に缺陷のあるによるか其の根本を調査した處、第一所管制度の上に明かに缺陷があることが解せられるに至つた、即ち該規則の主管は土木課に屬してゐる結果脫法行爲者を取締る上に於て不充分であり、勢ひ違反者がある譯であつて其の本質からみれば當然所管は行政警察の範圍に屬すべきものであるから土木課から警務局保安課に移管すれば脫法行爲を取締ることができるであらうと目下本問題に關して研究中である

春季競馬延期

星ケ浦における春季競馬第四日目は雨の爲六日に延期された

◇…今日は端午の節句、滿洲の春はまだうすら寒けれど、柳楊漸く新。

◇…五月一日のメーデーを期して馘首された東鐵社員は、保線區から支那人一三五名、露國人一一七名、支那籍露國人四八名、入區線路課から二二名、合計三一四名。

◇…連日の强風は雨となり□□□□□□、高原地帶の吉敦沿線では一面の銀世界、春とは名のみ、そこ冷のする氣候には日支人ともに感冒と胃腸病が多い。

= 滿鐵運道會から =

（上）土嚢競走（下）鐵道部の應援團

五月祭り

主催　大連市後所
後援　滿洲日報社

日時　五月十二日（日曜日）午前十時より午後二時迄
場所　譚家屯大連運動場――參會參觀隨意
參加團體　市內各社交婦人會、各宗教婦人會、各高女同窓會、各女學校、各小學校、各公學堂女生中華青年會女子部等
演技種目　▲輪體操（小學女生）▲五月をどり（女學生）▲落霞舞（中華青年女子）▲五月をどり（小學女生）▲メーボールダンス（女學生）▲朧月（中華青年會女生）▲渦卷行進（一般婦人女兒等全部）▲五月をどり（一般婦人）等

コドモページ

懸賞童話（佳作）お日様の子供（中）

長春　山田健二

満雄さんは初めの内はあまり氣にもなりませんでしたが毎日毎日きまつて只雪や雨の降つてゐる日だけ通らないので段々不思議に思つて來ました。

「誰だらう……?」

「お家はどこだらう!……?」

「何處へ行くのだらう……?それとも何處へ歸るのだらう……?」と考へましたがどれも分りませんでした。着物はあまり綺麗ではありませんが顔は取たての林檎の様に輝いて、身體中から御光がさしてゐる様でした。

線路の向ふ側はずーツと高粱畑でそれが終るゝ石ころの原が限りなく續いてゐて一人も人は住んでゐないのに毎日夕方その方に行くのですから不思議でたまらないのです。いつも見へるだけ見てゐるのですが、あまり夕日が輝いてまばゆいのでつい目ばたきをしてゐる間にお日様も少年の姿も見へなくなつて只あたりが眞赤に燃えた様に輝いてゐるのでした。

日曜日……其の日は珍しく暖かいので前の驛長さんの子供も外に出で雪を箱に入れて南向の窓の下で「お砂糖屋さんゴツコ」をしてゐましたので満雄さんも長靴をはいてひもで肩に廻してゐる手袋をして外に遊びに出ました……家にばかりゐて久し振りに外に出ましたので氣持がよくて時間のたつのも忘れて遊んでゐましたが。

「ゴー」と車の音がしていつもの下り列車が入つて來たのでビツクリして遊ぶのをやめて汽車の窓を一つ一つ見て行きましたが終りまで見きらない内に汽車は又動き出しました……

「あゝそうだ、もう來る時分だぞ!」と満雄さんは向ふ側の細道を見ますと……やつぱり光つた少年が一人ロバに乗つて何百里も歩いた様に疲れ切つた様子でトボ〳〵と歩いて來ます……時々天の方を見てゐますが丁度少年の眞上にお日様が光つてゐます、満雄さんは「どんな顔をしてゐるのだらう」と、線路をこえて畑の方に近付きましたが、近付けば近付く程まばゆくてとても目があけておられません、無理にあけてゐると、目が痛くなつて涙が流れて來ます……たまらないので思はず目を閉ぢて又開いた時にはもういつもの様にお日様も少年もロバの姿も見えなくなつて原と空の境が一面に赤く輝いてゐるだけでした

「あゝ残念だな——今日こそ見破つてやらうと思つたのに…」とくやしがつてゐますと「満雄さん何時まで遊んでゐるの……?風を引きますよ……もう家にお入りなさい」とお母様が臺所の小窓をあけて呼びましたので満雄さんは夕燒の空をもう一度名残おしそうに眺めながら家に入りました。

童謠　せきせいインコ

香帆琉

インコ
胸毛の青い色
ねむの葉のよな
細い毛だ
何時になつたら
あのねむの
桃色の花が
咲くであらう
インコの胸毛に
ちらほらと
紅の模様は
きれいだろに

今日は嬉しい　端午の節句

はるみち

父。三郎は今日は嬉しさうな顔をしてゐるな

三郎。だつて今日は僕等のお節句ですもの

一郎。三ぶちやんはおごちさうが食べられるから嬉しいのだらう　いやしんぼうだな

三郎。兄ちやんだつてさうぢやないか、やーい、兄ちやんのいやしんぼーう。

父。又喧嘩か、いくら尚武のお節句だからつて喧嘩なんかしちやいけないよ

一郎。お父さん、今日はうちで菖蒲湯をたてるでせう

父。あゝたてるとも

一郎。お節句にはどうしてお風呂に菖蒲をいれたりするの?

三郎。それは面白いからだい

父。さうぢやない、これにはいわれがあるんだ、昔から菖蒲湯に入ると其の年一年は病氣にかゝらないと言はれてゐる。之は菖蒲が身體を丈夫にするのにたいへんよく利く藥だとされて居たからだらう。地方によつては菖蒲に蓬といふ草を添へて檐に挿すところもあるが、それは一家の無事息災と火災をよけるためだといふことだ。

三郎。お父さん、お節句にはどうして鯉幟をたてるの?

父。うん鯉幟か?先づ幟はね、昔はおさむらひが戰に出るときにたてたものだ、それをまねて男の子のある家では子供が勇ましくそして立派に成人するやうに幟を立てゝお祝をするのさ、それから鯉の吹流しだが、この鯉といふお魚は池や川に居る魚でまことに元氣がよく、どんな急な流れでも、どんな瀧でも勢ひよくのぼつてゆくので子供も鯉のやうにぐん〳〵上に登つて出世をするやうにと鯉の吹流しを立てるわけだ

三郎。僕だつて屋根にでも木にでも登れるよ、此の間遠足で若草山に登つた時は僕が一等だつた

一郎。そんなことぢやないよ、上に登るといふことは偉い人になるといふことぢやないか、馬鹿だなあ

三郎。だつて一等になれば偉いぢやないか

父。又喧嘩か、喧嘩などして居ちや決して偉い人にはなれないぞ

母。お待遠さま、おごちさうの用意がすつかり出來ましたよ、さあ、みんなでお座敷にいきませう。

三郎。あゝ嬉しいなあ

一郎。嬉しいな

父。（默つてニコ〳〵）

動物の世界……ウーリーオポサム

何かの音に目をまん丸にしたウーリーオポサム君「オヤ、誰か來たやうだぞ」と言つたやうな表情で自分の尻尾につかまりながら頭をもち上てゐる。ウーリーオポサムは全身羊毛の様な柔かい毛で被はれた袋鼠の一種で、面白いことに此の動物は眠る時木の枝につかまつたり草の中にかくれたりするのでなく木の枝に自分の尻尾を巻きつけぶらり〳〵とぶら下つて眠るのです。まことに危い離れ業ですが眠つてゐる中に決しておつこちたりするやうなことはないさうです。

ニドメノ大チヤンノタンケン (45)

ミチ作　ブウ畫

オソロシイ　モリノ　ヨルガ　チカヅイテ　キマシタ。キノエダニ　ツリサゲラレタ　大チヤンハ　ドウカシテ　ナハヲ　キラウトシマシタガ　モガケバモガクホド　ナハハ　ツヨク　シマルバカリデス。

「ブルガナツカシイ　ブルハ　ドコニイツテシマツタノカシラ　ブルガヰタラ　ナントカシテ　タスケテクレルカモシレナイノニ　コマツタナア……。」

大チヤンノメニハ　ナミダガ　タマリマシタ。

大チヤンハ　クチブエヲフイテ　ブルヲ　ヨンデミマシタ。シカシ　キコエルモノハ　カゼニ　キノハノ　ユレルオトバカリデ　ブルノクルヤウスモ　アリマセン。大チヤンハ　イヨイヨ　カナシクナリマシタ。

五百人を乗せる飛行機の模型

これはロスアンゼルスのクラウド、エチ、フリーズ氏が考案した大航空機の模型です、此の飛行機は乗客を五百人も乗せることが出來一時間の平均速力は實に百二十五哩何と素晴らしい飛行機ではありませんか

學校と家庭

常設館映畫の學生に及ぼす影響　文部省最近の調査

文部省ではさきに國際聯盟の提唱に基き映畫に對する諸種調査を行つたがその際學校當局の興行映畫が學生に及ぼす影響如何を問ふた。これに對する東京府立六中の報告は左の如くである

映畫

映畫は殆ど觀客本位の卑俗なものばかりといつてよいかと思ふ、觀客が種々雜多だから、何れの觀客にも滿足を與へようとして段々堕落してゐる。息づまる様な人間爭闘、たゞれるやうな愛慾地獄、厭世的な人生觀、淫蕩な爛熟しきつた畫面等何れを見ても強烈な刺戟を與へるものばかりである。現代の學生、殊に上級生は、その年齢及び生理的關係と一面環境的惡影響に支配されて普通のものでは到底滿足されず段々に深刻なものに落込んで行きつゝある。觀賞的態度といふよりも單なる慰安的、娯樂的な氣分で觀てゐるから知らず識らずの間に映畫に引づり込まれ眼と心とを堕落されてゐる

興行場

興行場そのものが衛生上、風紀上よくないことは勿論である。常設館の附近に蝟集する青少年の多くは眞面目な者でなく所謂不良性のものが多い。性行不良の者はどうも暗黒な所を好む。常設館は室内が暗い、暗黒と犯罪とはつきものだといふ言葉があるが、活動寫眞を好む生徒はまたはその傾向あるものが多い不良の素質を多分に持つたものやうである。從つてかゝる所へ出入すれば勢ひ道徳心を低下せしむるとは爭はれないのである

辯士

常に觀覧するものは何時の間にか辯士の口眞似をするやうになる。然もその辯士の説明なるものは野卑低級であつて眞實がない。要するに今日の興行映畫は教育的な價値は少く寧ろ甚だしい惡影響を與へてゐると思はれる。而してこれを生徒に就いて觀察して見ると

一、強い刺戟の爲めに甚だしい疲勞を來す。
二、頭が散漫になつて來て思考力を減退させる。
三、映畫を好む生徒は學業が低下する。
四、道徳心を低下せしめる。
五、感情本位となつて理智生活が薄くなる。
六、子供の無邪氣さを失つてませて來る。
七、性に對し敏感で、一般に早熟である。
八、金錢を浪費し金に困ると惡事を始める。

學校だより

◇日本橋校小運動會　日本橋小學校では昨日の午前中同校々庭に於て小運動會を催したが當日は惠まれた春日和だつたのでお母さんたちの觀覧もあり頗る盛會であつた

金剛呪門 (229)

山中峰太郎作　小田富彌畫

祇園の書

スツと立上つた北辰の小天狗大刀をさげたまゝ會釋もなく、次の間へ歩み出た。と、そこの敷居の外に、ピタリと坐ると、定敬の方へ、いんぎんに兩手をついた。

「叔父上！さらば、御免を！」

「待て！教彦！」

と、定敬はズシリと呼びとめた

「………」

呼びとめた叔父を、言葉なく見あげた教彦、そのまゝ立上ると、早くも縁へ出た。

……言ふべきことを言ひ終つてどこへ行く？と、振返つて見送る隼に、定敬が聲をかけた。

「留ろ！朧野！」

「ハツ！」

立上つた隼、ツ、ゝ、と次ぎの間をすべるやうに縁へ走り出た。虎三も一緒に走つて出た。

「若樣！暫く！」

教彦の後へ追ひすがツた隼、聲と共に前へ廻つて膝まづいた。

「御前の仰せ、一先づお引返しを！」

「成らぬ」

と、縁に立ちどまつた教彦、

「退け！」

「いえ、一應、お歸りを！」

「留るな！朧野、己は行く所へ行くのだ」

「しかし、姫君にも、お待ちかねでございます」

「………」

隼を見下す教彦の瞳に、ツと涙が浮いた。その顔をそむけると

「あの西陣の數之助も、今朝からは、無事でをらうな？」

と教彦、不意に別のことを言ひだした。

「いかにも、只今は、家に安堵してをります……？」

「いや、十合の家の主人にも、よろしく言ふてくれ！」

と、同時に、ヒラリと縁を飛び下りた教彦、そこにある草履を穿くや否や、後も見ずに庭の枝折戸へ歩きだした。

それを見た隼、今は留まらぬと頷きながら、

「オイ虎三！どこまでも追へッ？見られても構はぬ。追へッ！」

囁く聲を聞いた虎三、

「合點だ！」

これも縁を飛びおりた。

枝折戸を出た教彦、砂利の上を通用門の方へ急いで行く。路へ出ると、暫く行つて片方へ折れた。

……何處へ小天狗が行く？

と、尾けてきた虎三、角の壁から首だけ出して見ると、折しも向ふから來かゝツた辻駕籠を、いきなり呼びとめた教彦、それに乗ると、忽ち早打ちの如く急がせて行く……。

……あゝいけねエ！

と虎三も後から見え隱れに走りだした。

駕籠は更に路を曲がつた。南へ取ると、四條の大通、賑はしい人通の中を、東へ折れた。やがて渡る大橋をすぎて行く……

……おやツ？祇園だぜ！

と虎三、走りながら小首をかしげた。

……祇園といふ所は、晝に行く町ぢやねエ筈だが？

その祇園の町、晝は何となく侘びしげに靜まつてゐる。格子の並びも、晝こそ反つて眠たげに、ウツラノ＼と陽の光を浴びてる中を通り抜けた教彦の駕籠は、島村屋の前に下された。

垂れを揚げて立ち出でた教彦、前の暖簾を見つめた。

昨夜の火災に漸く類焼を免れた島村屋、奥には、女の聲がざわめいてる……。

……誰か出てこぬか？

と、ためらふ氣はひの教彦が、急に思ひきつたらしく、暖簾を拂つて中へ入つた。

……變だなア！小天狗が、あんな所へ入つたぜ。

と、路の角に佇んでる虎三、まだ動いてる暖簾を見つめながら、またも小首をかしげた。

……一體、何をしに、こんな所へ早駕籠で來たんだい？

◇◇無法者◇◇マキノ時代劇押本七之助監督作品谷崎十郎主演澤田敬之助松浦筑枝助演の六巻もの【四日から演藝館上映】

映畫と演藝

愈よ大河内日活に復歸

昨冬以來映畫界の大きな話題となつてゐた大河内傳次郎の日活復歸問題は牧野省三氏が故澤田正二郎の遺志によつて調停役となり圓滿なる解決をなすべく盡力中であつたが、今回河部の脱退によつて日活は全く中心人物を失ふ事となつたので俳優脱退に對しては最も苦き經驗を有するマキノ省三氏夫妻の心意氣により急轉直下に解決し日活に復歸することになつた

五月に入つて映畫界は大掃除に押されて暫く一服▲十日の春祭りを當込んで電園下ではけふから木下巡業團のサーカス▲九日の宵祭から歌舞伎座で日本少女歌劇座が開演▲映畫館はお正月以外は大連に紋日がないと許り納まり返つてゐる▲解説者のトテモ立派な控室を作り次で試寫室を設けた演藝館で今度は看板部を新設▲早速技師の井上君が弟子入りしたなんて言ふと叱られるが、井上君の器用なことは浪速館の林サンと好一對▲最近大連映畫界に火がついて餘り騷ぎ廻るから今井檢閲官のお手のものである消防の方で一つ消していたゞいてはどんなものでせう

「金剛呪門」映畫會
讀者優待割引券（一枚一人）
（この券持參者に限り割引優待）
四日から演藝館で晝夜二回
主催　滿洲日報社

「金剛呪門」映畫會
讀者優待割引券（一枚一人）
（この券持參者に限り割引優待）
四日から演藝館で晝夜二回
主催　滿洲日報社

大連映畫界の進むべき道？【四】

永賀見太郎

眼前に迫つたトーキー時代レヴュウ時代に對して新館計畫者はその用意を怠つてはならない新時代に備へる戰闘準備だけは是非必要である、協和會館にトーキー映寫裝置が設備されるのも遠くあるまい、また協和會館は最近約四千五百圓を投じて舞臺の照明裝置を完成して映出に萬全を期してゐる、斯くの如く映畫興行を目的としてゐない協和會館に於てすら常に映畫界の進展に副はんとして着々と新設備を考究しつゝある時に映畫館が時代意識に覺めず平然たる事は自ら將來の經營興行上の蹉跌を招致せんとするものである。

要は時代に覺めて映畫館の設備を根本的に改革し本格的興行により現狀を打破する事が大連映畫界を救ふ唯一の道である而もこのことは從來屢〻力說されて私自身も幾度か提唱したところであるが遂に今日まで所謂理想論として葬り去られて來た、しかし混沌たる大連映畫界の現狀の裏に流れる頽時代の沒落を眼前に見る時興行者は眠りから覺醒して蹶起すべき秋に直面してゐるのである、私は最早この一文を理想論と考へられない大連映畫界の轉換期を冷靜に看取し得られるのである、最近の映畫界の動きは可成り逼迫したものがある、現在最も良きコンディションにあると確信する人も一歩を誤れば恐るべき危機を招來するであらう、而して今日は所謂陰謀の時代ではない、正々堂々たる合理的合法政策を確立すべき時代である。

五日尚武の節句に 晴れの御前試合

恩賜の日本刀と銀盃 宮相より優勝選士に授與する

【東京特電四日發】五日端午の節句當日を以て行はる、晴れの御前試合に天皇陛下には午後一時會場へ臨幸、皇族方始め顯官以下陪觀者千五百名參列の上、先づ劍道試合は斯道の大家高野、中山兩範士の大日本劍道の型を以て直に開始され、約一時間にて終了、陛下には一旦入御遊ばされ同三時再び出御、柔道試合を御覽遊ばさるゝ筈であるが試合に先だち嘉納師範、山下八段によつて古式の型を御覽に入れることになつてゐる。試合は約一時間で終り一木宮相からこの昭和御前試合で月桂冠を擔へる榮譽の選士に對し恩賜の日本刀及び銀製三組の盃並に宮内大臣盃を又選士一同には記念銀盃一個宛を授與される

畏くも聖上陛下 式場に臨幸

各皇族殿下をはじめ 各方面の名士で堂を埋む

【東京五日發電】からりとさつき晴した空に新幟勇ましく吹流した端午節の御前試合當日畏くも天皇陛下には陸軍通常禮裝に大勳位略綬を佩せられ午後一時式場玉座に臨幸あらせられた、全國武道界の精鋭百六十六名中から昨四日の豫選大會で更にすぐられた榮譽の戰士廿四名はいよいよ最後の渾身の勇をふるつて晴れの武技をたゝかはす側に全國民の血を沸し肉をおどらす昭和聖代の一大盛事といはねばならぬ、各選士は晴れの輸技を前に四日夜來ひたすらに精進齋戒沐浴して午前十時頃續々入場し腕ならしの練習に時刻の至るを待つ、武道御熱心の各皇族殿下を首め田中總理、望月、小川氏ら國務大臣倉富樞府議長樞府顧問官、陸海軍將星各觀覽正午頃堂を埋めつくして總數二千と算せられた

柔道指定 選士組合

五日の御前試合柔道指定選士准決勝組合せは左の如し

栗原 民雄—阿部 英兒
佐藤金之助—牛島 辰熊

また同柔道府縣選士准決勝組合せは

木原 久雄—山川 渉
島崎 朝輝—吉田 四一

柔道指定選士 准々決勝成績

柔道指定選士准々決勝試合は佐藤、小川、阿部、岡野、大島、栗原、柏原、牛島八選手の組合せを抽籤に依つて左の如く決定、直に試合を行つた結果左の如し

佐藤金之助(東京)勝 尾形 孝次(山形)負
阿部 英兒(東京)勝 岡野 幹雄(宮城)負
栗原 民雄(京都)勝 大島 耐二(名古屋)負
牛島 辰熊(熊本)勝 柏原 陽一(金澤)負

指定選士劍道 試合成績

【東京四日發電】四日劍道指定選士試合の第四部以下の成績左の如し

▲第四部
三點 植田平太郎(高松)
一點 堀田德次郎(高松)
一點 中野 宗助(福岡)
一點 橋本 統陽(東京)

▲第五部
二點 大麻 勇次(佐賀)
二點 伊藤 精司(東京)
一點 小關 敎政(旅順)
一點 早坂 弘道(神戸)
大麻、伊藤兩氏決戰の結果大麻氏勝つ

▲第六部
二點 齊村 五郎(東京)
二點 堀田捨次郎(東京)
二點 千頭 直之(岡山)
零點 吉浦 宣正(新潟)
同點者三名につき決戰の結果千頭堀田氏は堀田氏勝ち、堀田、齊村氏は齊村氏試合中右肱に負傷のため棄權堀田氏優勝

▲第七部
三點 高野 茂義(大連)
二點 大長 九郎(靜岡)
一點 近藤 盛一(高雄)
零點 近江佐久郎(德島)

▲第八部
三點 堀 正平(吳)
二點 宮崎茂三郎(京都)
一點 志賀 矩(大阪)
零點 檜山 義質(東京)

英特使殿下の御居間

「英特使殿下グロスター公御滯京中の御宿舍には霞ヶ關離宮が當てさせられたが寫眞は離宮内の殿下の御居間」

柔劍道指定選士の職業年齡

【東京四日發電】劍道指定選士の年齡職業左の如し

小川金之助(四六)武專範士(京都)▲大麻勇次(四三)佐賀劍道師範教士▲堀田捨次郎(四七)東京警視廳師範教士▲高野茂義(五二)滿鐵師範々士▲古賀常吉(四七)金澤醫大師範教士▲植田平太郎(五三)官吏(高松)教士▲持田盛二(四五)朝鮮總督府警務局師範々士▲堀正平(四二)吳鎭守府師範教士

なほ柔道指定選士の職業年齡は左の如し

佐藤金之助(不明)警視廳師範▲阿部英兒(三一)大日本製糖會社員(東京)▲栗原民雄(三四)京都武道專門學校教授▲牛島辰熊(二六)無職

光榮の劍士 職業別と年齡

【東京四日發電】五日の御前試合に出場の光榮を得た劍士の職業別年齡左の如し

劍道部

△畑生武雄(三十一歲)關東州滿電社員五段△森田可夫(二十一歲)愛媛縣松山高校生三段△南潔(三十五歲)兵庫縣會社員四段△本田勤四郎(五十八歲)千葉縣獸醫精錬證△横山永十(二十三歲)廣島高商學生三段△菅原茂夫(二十三歲)名古屋高商生二段△河合晧晴(二十五歲)茨城縣會社員精錬證△北見發造(三十四歲)樺太廳巡査四段

柔道部 左の四氏御前試合の榮を得たが明日は直に准決勝に入り其の優勝者二名が決勝戰として陛下の御前に妙技を演ずる

△吉田四一(二十四歲)兵庫縣小學教員三段△山川渉(三十一歲)大阪電力會社員五段△島崎朝輝(二十四歲)滋賀縣武道專門學校生四段△木原久夫(二十三歲)福岡縣八幡製鐵所員四段

旅順港閉塞記念祭(三日旅順白玉山麓で擧行した)

奉天紅梅町に 十人組馬賊

金品二千餘圓强奪逃走

【奉天特電五日發】五日午前二時ごろ紅梅町一二八支那人蘇福恩方へ十名の馬賊押入り拳銃と棍棒にて家人を脅迫衣類金品千八百六十八圓餘と現金四百圓を强奪して逃走した、急報により奉天署から直に急行したが犯人は行方不明目下嚴重捜査中である

デビスカップ戰 デンマーク二勝

【コペンハーゲン特電四日發】デビスカップ庭球戰歐洲ゾーンのデンマーク對ハンガリー第一日のシングル戰は四日當地に擧行された結果デンマークが二勝した

中央アジア地方に大地震

【モスクワ特電四日發】二日夜中央アジア地方に大地震ありペルシヤでは死傷者多數、損害莫大であるトルキスタンでも數個の村落は此地震のため全滅しペルシヤ國境に近き地方が最も激震であつた

三越の罷業 未解雇者要求を撤回す

【東京特電四日發】三越呉服店エレベーター係員の罷業は配達部員と合同し一時は更に擴大を思はせたが、四日に至り未解雇者廿五名は要求を撤回しストライキを中止した

春競馬 三日目成績

四日星ヶ浦に於ける春競馬の午後の成績は左の如くである

▲第五競馬繋駕二哩 一着金丸八分三十二秒、二着ラヂオ、三着白虎、配當十九圓八十錢
▲第六競馬各抽一哩 一着魁二分十三秒三、二着豐、三着淡月、配當十圓四十錢
▲第七競馬抽新一哩八分一 一着矢走二分三十七秒、二着谷風、三着勝見、配當六圓八十錢
▲第八競馬各抽一哩八分一 一着淡路二分二十八秒一、二着桂、三着源、配當七圓八十錢
▲第九競馬新古混合一哩八分一 一着花園二分三十一秒、二着華王、三着大黑、配當九圓五十錢
▲第十競馬新古呼一哩 一着大斗二分二秒二、二着早風、三着勇、配當五十圓
▲第十一競馬抽新一哩 一着利來二分二十秒一、二着荻、三着雲雀、配當十一圓二十錢
▲第十二競馬各抽一哩四分一 一着有利二分五十一秒二、二着旭、三着利根、配當九圓四十錢
▲第十三競馬抽新一哩 一着大和二分二十秒、二着稼東、三着千島、配當七圓六十錢
▲第十四競馬抽新八分七哩 一着豐榮二分一秒、二着一瞬、三着豐玉、配當八圓三十錢

因に三日目馬劵總賣高は四萬一千八百二十圓であつた

第二回全滿中等學校 籃球爭霸戰

日時 五月十二日午前九時
場所 南滿工專コート
參加校 大連第一中學校、同第二中學校、大連商業學校、旅順第二中學校、鞍山中學校、奉天中學校
主催 南滿工專籃球部
後援 滿洲日報社

初日から滿員札止 演藝館の讀者優待映畫會

お馴染の「金剛呪門」にファン熱狂

我社主催の讀者優待映畫會は四日演藝館において初日の蓋を開けたが、映畫觀賞シーズンに加へてフイルムは本紙上でおなじみの「金剛呪門」と云ふので、これはまた恐ろしい人の波、定刻前よりギツチリと鮨づめ、七時には早札止めと云ふ物凄い程の大入り、先づ帝キネの現代喜劇「新世帶」が軽い笑ひを觀客にあたへ、次いでマキノ時代特作品「無法者」が上映され八時半頃より「金剛呪門」に移る、主役松平敎彦に武井龍三が扮し獨立第一回作品と云ふので馬力をかけてゐる、物語りは數奇を極めて變轉極まりないもので紙上において讀者を魅了し盡したものであり、配役は端役に至るまで全くその人になり切つて觀客の興味を傑つてゐた、この讀者優待は四日より一週間であるが滿員にならぬうち成るべく早く出向かれたい

傳染病の流行期に備ふ 大連署衞生係

大連署衞生係では傳染病の流行期を控えて先づその媒介となるべき蠅の撲滅を圖る爲め近く管内各派出所に石油乳劑を配備し各家庭へ無料で提供すると共に普通料理店飮食店、旅館、下宿屋は勿論、菓子屋、豆腐屋に至るまでその製造場を臨檢し設備の不完全、取扱ひの不備な點に就き指示警告を發し改善を促して公衆衞生の萬全を期すると

關東廳で下附の 昨年の海外旅券

商業視察が最も多く 旅行先では米國が一

關東廳外事課で昨年中に下附した海外旅券數は九十七、其のうち商業視察三十二、工業十八、學術研究二十で滿洲に於ける商工業の前途に對する問題と研究を半面に現はしてゐる其の外遊歷十四、農業視察三、宗教研究一、轉勤六、呼寄せ三であつたが旅行先は米國は商業、獨逸は學術研究が多く米國三十四、獨逸十八、英國十一、露國十二、ジヤバ三、ボルネオ、スマトラ、ポルトガル、西貢、マニラ、スラバヤ各一名、工大學生が印度へ地質學研究の調査のため一名向つたのとブラジル渡航が一名は毛色が變つてゐる、其等の旅行者は三分の二まで滿鐵で其他は關東廳官公吏商工業民間方面は極めて稀である、これは州内に於ける狀況だが、滿洲對海外との直接商取引の少ない半面を物語つてゐる證左である

各地代表の弔魂團 二十四日來滿

【奉天特電五日發】全國各地代表者一行の全滿各地弔魂團は一戸大將と共に愈來る二十三日午後二時安奉線急行にて來奉翌二十四日午後十時十分發にて北行の筈であると

鯛の出漁準備

龍口から青島、海州沖一帶に渡る鯛の漁期が近づいて農林省からは例年の如く保護船として金鷄丸外一隻が派遣され到着し出漁準備に取懸つた、警備船遼海丸が龍口に碇泊し依然警戒に當つてゐるが、一時は張宗昌軍の敗兵が殺到し龍口一般の商人は門戸を閉塞して一切の取引ができずグチ出漁はこれがために大損害を受けた、今では南軍が來た爲めに支那商店は開業し魚類取引も出來るやうになつたが漁船の徴發で漁師等は大分悩まされた樣子であつた、鯛の出漁は現在の狀態では大丈夫であらうと樂觀されてゐる

共同御用聞き 沙河口市場で

沙河口市場では需要者の便宜を圖るため四月末から一人で各市場店舖の注文を聞く共同御用聞き制度を實行してゐるが、これは家庭に居乍ら日用品全部が整ふといふので一般から大變喜ばれてゐる

水產會魚市場 十二日開場式

新たに乃木町海岸に建設中であつた關東州水產會魚市場は此程落成を告げたので來る十二日正午より盛大なる開場式を擧行する筈

竹細工庖丁で 四人を滅多斬

福岡縣の慘劇

【福岡四日發電】四日午前四時福岡市京町に一家四人斬り事件があつた、被害者は飮食店井出常吉(五一)同人妻ミツ(四七)母トメ(七七)養女フミ(二三)の四名で、加害者は同家止宿人竹細工職松本三吉(二〇)と云ひ鋭利な竹細工庖丁で四人を滅多斬りにしトメは絶命他の三名は生命危篤である、取調べの結果、三吉は世の中が嫌になつたから死ぬることに決めたが、一人では嫌だから道連れにするつもりであつたと嘯いてゐる

伜の妻に懸想 福島の警察署長

【仙臺四日發電】福島縣中村警察署長折笠勇(五〇)の長男一の妻キン(二二)は長女花子(二)長男茂(一)と共に三日常磐線下り列車に飛び込み自殺を遂げた、キンは昨年夫一の死後一の實家に歸つてゐた處勇も一年前妻を失つて居りキンに懸想して結婚せんとしたためキンはこれを恥ぢたものである

高雄教授講演

目下來連西本願寺別院に滯在中の京都龍谷大學教授高雄義堅師は「信と其の表現」と題して今六日午後七時より播磨町大連幼稚園に於て講演する、多數青年男女諸君の御參聽を歡迎すると

けふのラヂオ

昭和四年五月六日(月曜日)

自午前十一時 相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)ニュース
自午後零時三十分 相場(特産、錢鈔、各地相場)ニュース
自午後三時三十分 相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)ニュース
自午後七時三十分
一、ニュース
二、露語講座 第七講 大連語學校グロースマン
三、筑前琵琶 本能寺 山崎旭黎
四、長唄 五月雨 (三繪會三田尻)唄 鳥次、同五郎、同吉彌、三味線 杵屋佐太郎、同歌丸、同晋十代
五、支那唱 坐宮盜令 唱馬金子 師村王鎭泉
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

本社懸賞當選小説

人生の曲藝 (121)

(禁無斷上演)

瀬野皓太作　淺枝次朗畫

雪の朝(三)

「青江節子」なる百合子は、荒井博士の門を出ると、心は勇躍にもえた。

「さあ、博士はこの數日間は妾の不在を怪しむ事はない。そして朱文啓は、相變らず妾が研究所に行つてゐるものと思つてゐるに違ひない。殊に、あれは、此頃は研究所の一室に寢泊りしてゐると言つておいてあるのだ。そして、東京驛はこの一月は、まるで妾の身體はあいてゐるのだ。これで、妾が突然に姿を消さうとも怪しむものはないのだ。さあ、萬事好都合に行つた樣だわ」

彼女は心の中で、さう考へた。

朝からの雪は仲々に止みさうもなかつた。

荒井理化學研究所から一町ばかり隔たつた所に、彼女の自動車が待たされてあつた。

「間に合つて、くれゝば好い。今まに合なければ、恐らく二度とあの人の胸にすがりつく事は出來ないかも知れない。ほんとに間に合つて呉れゝば好い」

彼女は、さう心の中で念じた。

「運轉手さん、今は八時二十分です。こゝから新橋まで十分間に行きつきますかしら」

彼女は外を眺めたけれ共、雪の爲に、まるで見當がつかなかつた。

運轉手は、俄に狼狽し始めた樣であつた。彼は返事の代りにスピードを出し始めた。が、車は相變らず、からまはりが多くて彼女は時々のめる樣に、車と共に動搖した。

「八分間です、あと」

彼女は注意する樣に、時間を知らせた。

運轉手は、一生懸命に、ハンドルに噛ぢりついてゐた。

ほんとにたまらなかつた。

ゐる内村信策の顔を思ひ出すと、

「これで、おしまいだわ。妾は、とても自分の運命に反抗する事は出來ないんだわ」

彼女は、さう思ふと、その蒼白く變つた頬の上に、冷たい涙を流した。

「葉山さん。こんな所であなたは何をしてるんです」

と言ふ者がゐる。

彼女は吃驚した樣に、その顔を擧げた。

「新橋へ」

自動車は、すべる樣に、雪の上を走つた。

時計は八時に少しばかり前だつた。

「運轉手さん、どうでせうか八時半に間に合ひますかしら」

「はあ、大丈夫です。着いて、まだ充分お待ちになれる位ですよ」

自動車は、それでも、雪の爲には、いく度か、からまはりを續けて、仲々思ふ樣には進まなかつた。

「ほんとに大丈夫でせうか」

「大丈夫です。大分積つてますから、少しはおそい樣ですが、間に合はない事はありませんよ」

「さうでせうか」

彼女は、しかし、まだ不安であつた。

「若しも、此汽車におくれたら」

そんなことゝ思つた。

内村信策は屹度、失望するに違ひない。失望どころではない、彼女の違約を思ふに違ひない。いやむしろ彼は彼女を嘲笑するかもしれない。

そんな事を思ふと、車の歩みがいつもほどに輕快でないのが、氣がかりでならなかつた。

「もう、五分しかありませんわ。あそこは五分停車ですから、今ごろは着いてゐるんですわ」

「この雪ぢや、汽車もおくれますよ」

「汽車がおくれることよりも、此の車が間に合ふつもりで御座います」

「間に合ひまして?」

しかし、自動車が驛に着いた時は、驛の時計でさへも、ぴつたりと、八時三十分を示してゐたのであつた。

彼女は轉ぶが如く、驅け込んだ切符は、どうやら手に入つたけれ共、改札口はぴつたり締められて了つてゐた。

「今、發車しました。お氣の毒さまです」

驛員は、實際氣の毒さうに彼女に言つた。

彼女の張りつめた心は、一時にゆるんだ。彼女は、全く眼の前がまつくらになるかとも思ふばかりであつた。

そして、トランクを下に下すとくつたりと崩れる樣に、その上に腰を下した。

新橋の驛を離れて、東京の街々の屋根をみながら、彼女を嘲笑し

滿日文藝

滿日柳壇

「上と下」

上と下迹れて戰夫の裏參り　旅順　都一

上と下電光の如く目は動き　鐵嶺　しづとし

姐虫のやうに飛行機から眺め　濟陽　一步

上と下區分して見る大男　旅順　要砲

席順の上下錢で定められ　撫順　放浪子

段梯子上と下から目で合圖　沙河口　素髮坊

太鼓持ち上と下とは別な酒落　沙河口　溪聲

上下の壁は掴ふて杭は打て　沙河口　水母

炭酸紙中に挾んでよくうつり　撫順　卓坊

口笛に二階の紙落ちつけず　昌圖　福助

支那木挽息を引上げ引下し　大連　紅竹

急用の窓から話す上と下

上役は部下を見下す席を占め

上からは睨まれ下からは睨まれ

三光

大連市伏見町十五丁目北二ノ六　櫻井無六

上下の文句で手紙やつと讀め　撫順山城町四ノ三ノ四　田中放浪子

汚れてもいゝのを行李の上と下　奉天末廣町製麻會社内　福田瓢六

地下鐵に乘つて上野の醉が醒め

エレベーター上と下とへ待たせて

上下へ入れて小包締られる　選者　吟

滿洲日報地方版

哈爾賓

五三記念遊行に我官憲が抗議

支那側陳謝し納まる

當地の五三記念日は哈爾賓學生聯合會が主催し特別市々黨部の支持を受けて大遊行が行はれた、參加學生は工科大學、法科大學、商船學校、醫專、一中、二中、三中、許公中學、女學校などの學生約二千名で午前九時八區の野に一同集合し同十時出發各自に「否認二十一條」「打倒日本帝國主義」「消滅中國共產黨」「中國々民黨萬歲」「三民主義萬歲」などの標語を書いた白旗を振り翳し長蛇の列を作つて傅家甸の各大通りを練り歩いた上更に新市街並に埠頭區の主なる通りを遊行した、尚學生聯合會ではこの示威運動の外に五組の演説隊を組織し市内各要所において濟南事件當時における狀況の講演を催し氣勢を揚てゐたがこの前行はれた路權回收示威運動における熱狂振りと異り一般に靜かであつた尚傅家甸にある基督青年會では午後七時から五三

追悼

演説會を開催した此日我總領事館では濟南問題が解決された今日、五三記念遊行の如き排日的行動は當然支那側において嚴重取締るべきものであるといふ條約尊重の見地から紳士的態度を持し前日より右計畫の風聞があつたに拘らず事前に抗議若くは警告を發するなどのことなく差し控えてゐたが當日に至り支那側では非法にも支那學生聯合會が示威運動を實行せんとしつゝあるを

默過

してゐるので八木總領事は斯くては日支の友交關係上頗る面白からぬ結果を招來するものとなし直に總本書記生を支那交渉署に派し右集合の即時解散を要求せしめたる處支那側では學生の示威運動は學生等が極秘裡に運んだもので當方でも今初めて知つたやうな次第であるから既に市中へ出發したものは出來るだけ歸還を命じ未だ參加出動しないものに對しては早速これを禁止すると

陳謝

の意を表したので藏本書記生は引揚げたしかして右抗議の結果示威行列は比較的靜粛に行はれ早く切上られた觀があつた

馬賊跳梁

討伐隊急行す

最近寧安縣下に頭目鬣天の率ゆる約二百名からなる馬賊團が出沒縣内各所を盛に荒し廻り近縣城寧安を襲ふべしとの情報があつたので吉林東北邊防副司令部ではこれが討伐のため一營の兵を同地に急派した

彈壓されたメーデー

氣勢あがらず

當地における五月一日の露國側勞働祭は支那官憲の取締が嚴重なため指定された數ケ所で屋内の祝賀會が催されたのみで一向氣勢が揚がらなかつたが東支鐵道、哈

寺院境内借家問題解決

借家問題の喧しい折柄地段街ソフヒスキー寺院境内の村井病院、河合病院、藤井洋行、東洋ホテル及び中村文四郎宅の五軒は昨年で既に十年の契約期限が切れ而も右建物全部が現在居住者の所有なるに拘らず初めの約束で期限到達と共に無償で右寺院へ引渡さねばならぬことゝなつてゐて兩者の間に揉めてから期限延期について紛擾を醸してゐたが今回八木總領事の斡旋によつて家賃二ケ年分を前納する條件で更に今後十五ケ年間契約を延ばすことゝなつて三日兩者間に調印を終つた

航業公會と運送業者確執

益々紛糾を加ふ

航業公會と運送業者との確執はその後益々紛糾し今日にありては最早當地にては平和的解決を望み難き情勢にまで立ち至つてゐるが當地商務會からの通電によつて事態の急なるを知つた奉天當局においても容易ならぬ問題とみなし一日航業公會々長王理堂氏に對し招電を發しこれが眞相並に解決策につき事情を聽受するとになつたので王氏は二日急遽南下奉天に向つた

人事一束

▲基督復活祭のため當地各國銀行、哈爾賓驛、勞農總領事館並に各俱樂部、組立工場などでは終夜五色のイルミネーションを點じ輝く鬱憤を晴らしてゐた、尚ハバロフスクのラジオ放送局からは盛んに宣傳的講演を發してゐるのが當地においても感受された

▲永らく奉天に滯在中であつた行政長官張景惠氏及び哈爾賓交渉員蔡運升氏は三日午後四時五十五分同車歸哈した●

▲當地總領事館太田日出雄書記生は今回ペトロパウロスク在勤を命ぜられ車松官補の來任を待つて本月中旬頃出發赴任する筈。

▲當地總領事館在勤を命ぜられた車松宮雄官補は十日東京發十五、六日頃來任の豫定。

▲六日から京城本店で開催の鮮銀支店長會議へ列席のため箱崎當地鮮銀支店長は一日晩南下京城へ向つた。

▲露國商業會議所會頭カバルキンは一、三日の三氏は經濟事情視察のため二、三日内に日本へ赴く筈。

長春

結局商議立直し

笠井派尚ほ頑張り領事の調停に不應

商議紛擾解決に關して永井領事は調停の方針に基き一意積極的に[illegible]きを見た上飽くまで笠井會頭が自發的に辭任せざる場合には最後の手段として會頭並に全議員の認可を取り消し長春商工會議所を一旦廢止し更めて改組せしめ後日紛糾の因を再び繰返さざるやう定款の改正を致して自決を促したが笠井氏は事此に至つては最早止むを得ずとて辭任の意を表したが自分一個にて決し難しと即答を避けた笠井派の中心人物たる赤木兩議員は飽くまで戰ふとて辭任に反對し三日領事館に出頭し表明した永井領事の勸告に應ぜざることを、なる處置を取るかは注目の的となつてゐるが恐らく二、三日成行

狂犬豫防注射

長春警察では七日から十六日まで左の日割で管内の狂犬豫防注射を實施す

五月七日(消防隊にて)中央通り以東、四一圓、[illegible]日(同上)東一通り以西中央通り以東、九日(同上)東三條通り以西東一條通り以東、十日(同上)東三條通り以西東二條通り以東、十一日(同上)東四條通り以西東三條通り以東、十三日(細菌檢査所にて)東五條通り以西東四條通り以東、十四日(同上)東五條通り以東一圓、十五日(同)鐵北一圓

尚注射の犬には犬牌を交附するが右日割以後の分は有料とすると

劍道內地遠征

滿鐵劍道部の內地遠征は八日大連出帆の豫定であるが長春からは多分事務所の吉谷三段が加はる筈で同氏は六日長春發赴連する、因に一行は十二日京都武徳殿、十六日は名古屋廿日は東京で夫々試合を爲し廿一日東京發歸滿すると

安東

會議所陳列室

市內出品勸誘

安東商工會議所の商品陳列は曩に陳列館を廢止して陳列室とし、各地からの出品を返還して專ら安東土產品を陳列することになつてゐるが現在の所では日滿、富士紡、鴨綠江製紙の三出品があるのみで未だ土產品を網羅してゐると云ひ難く各地からの觀覽者に安東商品を知らしめるに充分でないから今回市內土產品商の出品陳列を勸誘することゝなつた

町の便り

支那側の計畫である北陵行遊覽列車は愈五日の日銀から開始されたが該列車は瀋陽驛から奉天驛に直行し皇姑屯驛を經て東北大學附近まで向ふ

◇

奉天武道獎勵會では五日午後一時より八幡町八番地の幼稚園で地方部道場開きを行つた

◇

一燈園西田天香氏の講演會は今六日午後七時半から一般のため滿鐵社員俱樂部に於て開催、更に婦人のため七日午後一時から同會場に於て開催される

奉天

人妻を隱匿

搜查費を强要

本籍直隷省保定府現住所不定無職張振欽(二九)は廿日前から千代田通滿鐵旅館に投宿してゐたがその中同宿の新民縣王海山(三二)と知り合となり去る廿九日王が商用にて城內に赴き不在中王の妻王月穆(二九)を語を解せる二名の支那人にて一名の爺さんの頭部を金槌にて一撃をくはへ

[illegible]

鞍山

質屋の强盜

日本語に巧み

既報した鞍山北二條町質屋栗林健次郎(六三)方に侵入した强盜は日本語を解せる二名の支那人にて一名は金槌一名は手斧を持つて就寢中の爺さんの頭部を金槌にて一撃を加へ即死せるものと思ひ老母に案內させ金庫より時計其の他現金を奪し手斧にて老母に一擊を加へ何れにか逃走したものである、鞍山署では全署員晝夜の別なく嚴重犯人搜査中である

鮮人青年會

產聲を擧ぐ

鐵嶺在住の鮮人青年間には豫てより青年會設立の計畫が進められてゐたが今回愈其機を得て滿鐵事務所に於て創立總會を開催したる創立協議會に於て設立運動に着手し四日午後七時より鮮人民會事務所に於て創立總會を開催し會員相互の親睦向上を圖るといふ目的としては五大綱領を揭げて同會は在鐵十八歲以上四十歲以下の思想健實なる青年を以て會員とし會の綱領左の如し

社會奉仕、青年の進路開拓、團結と修養、社會常識の普及、相互の親睦

而して會員は目下四十名內外らしく會長には副民會長李謙求氏又は現民會長梁戴沃氏の何れかを推戴し會長は會を統率し其下に部長數名書記を置いて會務を掌らしむる筈であると

新台子民會評議員改選

新台子民會では評議員の任期滿了につき改選投票を行つた結果左記日支人十名宛か當選した、而して近く評議員會を開催正副會長の互選を行ふと

菅原正治郎、末本文平、稻田長四郎、根上藤五郎、中野嘉一、鈴木兼吉、井上定次郎、上村政治郎、小篠喜代藏、前田兼次郎、劉來川、邢瑞霖、楊蔭三、王錫三、李雨田、吳蘊臣、張文選、孟輔堂、畢純修、于幹臣

狂犬豫防注射

鐵嶺警察署では狂犬病豫防のため來る廿一日より左記日割に於て管內の畜犬に對し豫防注射を行ふ筈であるが注射は全部無料につき飼主は進んで注射を受けしめるやう勵行されたしと

▲五月二十一日本署構內にて▲二十二日驛前派出所▲二十三日新臺子民會公會堂にて▲二十四日亂石山派出所▲二十五日亂石山會▲二十六日得勝臺平頂堡

小日山理事

滿鐵社長代理として沿線社員慰問の途にあつた小日山理事は五日鐵嶺を最後として慰問來鐵の筈であつたが急に豫定を變更し鐵嶺には

春季慰安車

鐵嶺管內に於ける春季慰安車の來鐵日は來る十八日亂石山、十九日平頂堡と決定の旨通知あり今回は得勝臺は除外されたやうである

來らず五日午後四時二十七分通過の急行列車で大連に直行歸任した

撫順

全撫順祭典

五日盛大に擧行

從來宗教團等一部の祭典であつた撫順に於ける招魂祭は本年よりオール撫順の定期祭典となり五日午前九時より東公園表忠塔前にて第一回目の神式に依る祭典が嚴肅に行はれた

定刻前各小中女學校生徒二千人炭礦市內の在住民、青年團、在鄉軍人等一千計三千人の大衆塔ろに進み二十有五年前、日露の役に際し祖國の爲屍を異鄉の野に曝せし戰士の靈を謹んで慰む意味の祭文を朗讀、次で各團體代表交々立て玉串を捧げ十時三十分莊嚴裡に式を閉ぢた

それより久し振の惠まれたる好天氣のなかに撫順相撲協會奉納になる花相撲、銃劍術等が盛大に擧行された祖國の爲斃れたつはもの、英靈を慰むる處あつた

從業員實習所

卒業式を擧行

撫順炭礦では從業員教育のため三ケ月間坑內係員の實習所を設けてゐるがその科目は採炭一般、電氣、支那語その他で第三回卒業式が四日正午より中央事務所三階にて行はれた、今回卒業生は十二名であつた

開帳中踏込る

三日午後十一時五十分撫順千金大街四五油工商谷照明(四二)方にて同人始め歡樂園義合成趙實業(三七)千金大街四五五雜全(三七)西一條通天泰成、孫樹祥(四五)千金大街喪侶(三〇)五名が車座になつて賭博開帳中木原巡查外三名に踏込まれ一網打盡

コソ泥棒

四日午後二時市內西六條通十五番地田中ツル方にコソ泥侵入羽二重帶時價二十圓、明石単衣時價二十圓、銘仙單衣一枚十圓その他合して百圓のものを竊取逃走犯人不明

開原

開原デーを擧行

各役員の推薦をはる

三日午後二時より地方事務所に於て協議會を開催協議の結果招魂祭並に開原デーは例年通り擧行する事に決し左記役員を推薦した

招魂祭役員

祭典委員長守備隊長奈良正彥、同副委員長軍人分會長三田泰三

開原デー役員

會長川崎亥之吉、副會長佐竹令信、庶務委員長川島定兵衛、審判委員長三田泰三、競技委員長井上芳雄、賞品委員長清水楠次郎、衷護委員長松本辰吉、設備委員長安田佳藏、警備委員長前田信二、場內整理委員長上郡山九敎、記錄委員長山田民五郎、接待委員長津田善松

尚本年は優勝旗を新調し對抗競技に一層の花を添へ運動の精神を發揮する事となつた

滿蒙鐵道驛傳競爭

走距離　十五鐵道　三千四百二十四哩

期日　五月十九日大連驛出發

方法　紅白二班に分ち各班五名宛の本社員のリレーレースとなす、大連驛を出發及び歸着點として豫定鐵道線路を必ず一回は通過するを必要とす、但し連絡の際における乘物に制限を附せず、各班は電報又は郵信を以て動靜および觀察記を本社に送ること

審査　全行程を最も短時間に且つ完全に走破すること、通信記事の優秀なること及び所要經費の少額なることを必要條件となし勝敗を決す

所要時間豫想募集　兩班の中、全行程を完全に突破して先着せる班の所要日時を普ねく讀者より募集す(募集開始五月十日、締切五月廿五日)

詳細の規定　二日朝刊に發表せり

旅順閉塞記念日

水いらずの集り

懷舊談に花を咲かす

旅順乃木町河合八郎氏方に滯在中の久保田金平老は旅順閉塞記念祭に列席し一場の講演を成した後、午後六時から氏が旅順驛長時代に建てた懷しい想ひ出の多い室內で一夕の懇親會を開催し水入らずの懷舊談に花を咲かした。

◇―◇

日露戰爭に參加したと云ふ細川少佐、宮竹、矢幡の市會議員、軍神廣瀨中佐の旅順閉塞隊に參加した往年の勇士松崎氏も加はつて日露戰役當時の戰況と旅順包圍ち乃木將軍の神格的遺跡を追懷し盡忠報國の赤誠、二萬四千餘名の先驅が血河屍山を築いた旅順攻擊の勳功、白玉山に燦として光る英靈の物語に興の盡きるを知らぬ感慨無量の談話が次から次へと交された。

◇―◇

故乃木將軍の尊拜家として知られた久保田金平老は立つて將軍二兒の出征から名譽の戰死、乃木將軍が金州南山で陣沒した愛兒の墓前に立ち「征馬進まず人語らず」の句を誦した心中を老は涙を流して物語つたが當時乃木將軍の道驛として聞いたのは石本鏆太郎氏であつたといふ、細川少佐は久保田老が旅順驛長時代邦家のため戰死した勇士を弔ひ、鬼骨愁々の古戰場に白骨となれる其等の勇士の遺骨を全部掘出して戰跡保存會の今日を培つた顛末を紹介し久保田老はイヤ實に悲慘でした、陣沒勇士の骨が雨曝しに逢つて捨てられてあつたので、時の總督に面會し埋葬しやうと計つたが經費の關係で容易に聽かれない、それで私は頸にズダ袋を下げて日本を行脚しこの報國の勇士が今尙白骨のまゝ捨てられてあることを遊說したならばと思つたが、それも出來なかつた、しかし恰度其時今の首相田中大將が陸軍次官として來旅したので戰跡を案內した際「アナタはあれが見えますか?」と問ふた處「ナニ白骨か」と答へ――「解つた」と漏らした、それでやつと白玉山の納骨祠が竣工した譯である、其れは明治四十一年十一月廿八日であつた

◇―◇

次いで久保田老は故乃木將軍を崇拜し將軍の知遇を受けたかと云ふ點に就いて今まで發表されない秘められたる事實の物語があつた、其れは久保田老が驛長時代明治四十一年白玉山除幕式の舉行された時、故乃木將軍、東鄉元帥、黑木、大山總司令官その他七將軍が來旅し除幕式に參列し乃木將軍を驛長舍宅に案內し一夜の宿所として供したが、久保田老夫妻は其の時廊下で一睡一將軍の夢のやすらかに結ばれるやう赤心を以て盡したのでチラリこれを目擊した部下に情味ある將軍を感動せしめ其れより將軍の厚遇となつたのである

◇―◇

其後乃木將軍が明治大帝の御後したひ自刃する前日「旅順に久保田金平と云ふ驛長ありよろしく頼む」と遺言するに至つた眞情、これが動機となつて久保田老は旅順を去る時現在の家屋と故乃木將軍の直筆の書、東鄉元帥、大山元帥、伊藤博文公其他日露役參加の各大將の書を全部家屋諸共白玉山に寄附したのであつた、これは神格乃木將軍の逸事として記念されるべきものであらう

◇―◇

旅順港閉塞記念祭の夕は斯くの如く意義ある物語で終始した、久保田金平老と旅順は離ること[illegible]のできぬきづながある、この家屋は白玉山麓に永へに傳へられるであらう

鐵嶺

保線區の新工事

開原驛の新築、清河の鐵橋等十一月までは大多忙

鐵嶺保線區は磯谷區長以下各員同忙を極めてゐるが今年は年來の懸案大工事たる開原驛の新築がある爲め其方に全力を集中し複線工事其他昨年のやうな大工事や難行事は無いやうである、併し明年度の複線工事準備としても清河の鐵橋新設工事がある、之れは工費三十四萬圓を要し百尺の鐵桁三十連を架設するもので既に着手し十一月末日までに完成の豫定である、同じく複線準備として開原河金溝子河に各一連を架設すると尙此外開原驛構內のスタンド、パイプ設備工事の九千圓、開原驛及び新台子驛の貨物積載場道路並に排水設備工事三萬圓等があり今秋までは寧日なき繁忙である

對抗柔道試合

醫大對奉天道場

滿洲醫大對奉天道場の對抗柔道試合は十九日午前九時三十分より滿洲子に於て家族會を開催すると希望者は左に申込れたしと

奉日野村數幸、白川組三浦源七、自邇寮住吉良平

廣島縣人會

廣島縣人會は十九日午前九時三十分より湯崗子に於て家族會を開催すると希望者は左に申込れたしと

大連將棋聯盟特選

滿日五人拔戰

(福村君二回勝三回目)

(三ノ五)

平手先番　▲二段福村義一　△二段泉宮晉吉

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香								香	一
桂	飛						銀	桂	二
				步	步			步	三
		步	銀						四
	角			步	步				五
步	步	步	步		步				六
		金	金	銀	步	步			七
		玉				步			八
香	桂		馬					香	九

(盤面以下の手順)

▲三五銀△二四步打▲四四步打△四二步打▲二四銀△同銀▲同馬△同飛▲同飛△三三桂▲二一飛なる△四五桂▲二三步△四四角▲四六步打△六五步

持駒　福村　步步

(泉宮君曰く)

對局者の實感

敵の四四步打には困つた。どうもこの步には他に好い防ぎ手もないから欲むを得ず一步の步防ぎに使つたのはつらかつた。

(福村君曰く)

五五步と突つかけたのは敵若し同步ならば五二步と打つて攻める考へでしたが輕く四四角と交はされたから、些か手ぬるいが桂得になるから四六步と攻めました。

觀戰雜記

三段　宮本金三

福村君が三五銀と進み四四步ゞ輕く攻めたのは感服した。尙泉宮君が三三桂、四五桂と端駒を働らかせたのは面白い手段であつた。急に格好な攻め手はなくとも此のやふに自分の端駒に對して一手の手段を敵に費やすのは好手筋と推賞していゝと思ひます。